

2 0 2 5 (令 和 7) 年 度
授 業 ア ン ケ ー ト 報 告 書

研究教育開発センター

目 次

I	授業アンケートについて	P 1
1	授業アンケートの目的	
2	授業アンケート実施概要	
3	授業アンケート設問項目	
II	2025（令和7）年度授業アンケート結果の総括について	P 3
1	学生のアンケート回答状況について	
2	学生の授業と担当教員に対する評価について	
3	授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）について	
4	今後の授業改善のために	
III	前期授業アンケート結果の分析について	
1	前期のアンケート回答状況	P 5
2	学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析	
(1)	各設問に対する集計結果	P 7
(2)	各設問に対する5段階評価の平均	P 19
IV	後期授業アンケート結果の分析について	
1	後期のアンケート回答状況	P 28
2	学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析	
(1)	各設問に対する集計結果	P 30
(2)	各設問に対する5段階評価の平均	P 42
V	授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）の集計及び分析について	
1	「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について	P 51
2	「この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について	P 84

I 授業アンケートについて

1 授業アンケートの目的

学生は受講している授業をどのように見ているかという観点からの情報収集と教員個々の授業改善やFD活動への活用。

2 授業アンケート実施概要

(1) 対象科目

2025（令和7）年度に開講している全授業科目（演習及び実習を除く）を対象に実施。

(2) 実施時期

①前期：2025（令和7）年7月7日（月）～8月8日（金）

②後期：2026（令和8）年1月12日（月）～2月6日（金）

(3) 実施方法

パソコン・スマートフォン等によるLCUでの回答。

(4) アンケート設問項目（詳細はP2参照）

①この授業と担当教員に対する評価について

②この授業の良かった点または改善を求める点について（自由記述）

(5) アンケート回答状況

①前期：51.3%（回答数：12,079／対象科目数：23,559）

②後期：40.3%（回答数：9,402／対象科目数：23,359）

③学年別・学科別の回答状況：詳細はP5（前期）、P28（後期）参照

(6) アンケート報告書の公開

大学ホームページの大学紹介の「大学情報公表」にて公開する。

3 授業アンケート設問項目

問1

この授業と担当教員に対する評価について

1－① 教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－② 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや音量）。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－③ 教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－④ 授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。

※教室の広さ、Wi-Fi 環境、冷暖房の調整など担当教員の指導以外の要因は除きます。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑤ 学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑥ この授業の受講を他の人に勧めたいですか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

問2

今後、この授業をより良い授業とするために、みなさんからのアドバイスを入力してください。 2

－①

この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。（1000 文字以内）

2－②

この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。

※具体的な理由や根拠を含めて記述（回答）してください。また、改善等につながらない内容、または誹謗中傷するような内容は控えてください。

※オムニバス形式（複数の教員が担当する）の授業では、特定の教員の氏名を入力することは控えてください。

Ⅱ 2025（令和7）年度授業アンケート結果の総括について

1 学生のアンケート回答状況について

2025（令和7）年度学期末授業アンケートは、2024（令和6）年度後期から学生による授業と担当教員に対する評価」と授業に対する「良かった点」と「改善を求める点」という設問に見直して、初めて1年を通じて実施したアンケートとなった。

学生の回答率は、前期が64.8%、後期が51.2%で年間では58.0%という結果となり、2024（令和6）年度の通年の回答率53.6%よりも4.4ポイント上昇した。（P5及びP28参照）

実際にこの結果を裏付けるものとして、学生FDパートナー（6名）にも意見聴取し、全員が回答しやすいアンケートになったとの回答しており、見直しの効果がはっきり出ていると言える。

2 学生の授業と担当教員に対する評価について

アンケート結果をみると、2024（令和6）年度もそうであったが、前期・後期とも①～⑥のいずれの設問も「そう思う」という最も高い評価をした学生が多かった。個別の設問では教員の授業に対する準備について問う設問①【準備の周到さ】が最も高い評価となっている。逆に最も低い評価は、学びに対する意欲をかきたてられたかを問う⑤【学習意欲の喚起】となっている。これは学部別・学科別で比較しても概ね同じような傾向となっており、この結果は2024（令和6）年度も同様である。ただし、この⑤【学習意欲の喚起】は、令和5年度前期の4.39から令和6年度前期の4.43、令和7年度前期は4.48へ、令和5年度後期の4.40から令和6年度後期の4.39、令和7年度後期は4.46へと上昇しており、学習意欲の喚起についての底上げができています。また、総合満足度の指標となる設問⑥【授業の推奨度】についての評価は、それぞれ前期4.52、後期4.49、通年では4.51であり、概ね学生は授業を高く評価していることが伺える。（P20及びP43参照）

3 授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）について

2025（令和7）年度から、前期・後期の授業アンケートに、授業の「良かった点、続けて欲しい点」と「改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点」を尋ねる自由記述設問を加えた。これにより、学生が評価している授業方法や教材等を把握するとともに、改善を求める内容を具体的に捉えることが可能となった。課題の把握だけでなく、評価された取組を維持・発展させるための資料としても活用できる。

分析には、グラウンデッド・セオリー・アプローチの考え方を参考にした質的内容分析を用いた。空欄、「特になし」と同趣旨の回答及び内容の判断が困難な回答を除外した上で、回答を意味のまとまりごとに読み取り、内容を表すラベルを付与した。さらに、類似するラベルを比較・統合し、「教示」「教材」「学習環境」「教授法」「評価」「意欲への影響」の6つのカテゴリに整理して、件数及び割合を算出した。

4 今後の授業改善のために

分析結果は、個々の回答を担当教員の評価として扱うのではなく、学科教員が学科全体の教育内容・方法を点検するための資料として活用することが重要である。学科別・科目別の傾向を確認し、複数の科目に共通する要望については、授業内容の重複や不足、難易度、説明方法、授業進行、課題量及び評価方法等を学科内で検討する。各担当教員は、その検討結果を踏まえて実行可能な改善項目を設定し、次年度のアンケート結果と比較することで、改善の効果を継続的に確認することが望まれる。

以 上

Ⅲ 前期授業アンケート結果の分析について

1 前期のアンケート回答状況

1) 大学全体

学年	大学全体		
	回答者数	在学者数	回答率
1	625	686	91.1%
2	511	711	71.9%
3	463	722	64.1%
4	252	738	34.1%
大学全体	1,851	2,857	64.8%

学年	経済学部			福祉社会学部			国際文化学部			看護学部		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	305	347	87.9%	145	152	95.4%	98	108	90.7%	77	79	97.5%
2	262	342	76.6%	148	179	82.7%	70	108	64.8%	31	82	37.8%
3	217	306	70.9%	174	220	79.1%	72	126	57.1%	0	70	0.0%
4	118	383	30.8%	100	218	45.9%	34	137	24.8%	0	0	0.0%
学部全体	902	1,378	65.5%	567	769	73.7%	274	479	57.2%	108	231	46.8%

2) 学部別

a) 経済学部

学年	経済学科			経営学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	135	153	88.2%	170	194	87.6%
2	82	123	66.7%	180	219	82.2%
3	77	141	54.6%	140	165	84.8%
4	40	185	21.6%	78	198	39.4%
学科全体	334	602	55.5%	568	776	73.2%

b) 福祉社会学部

学年	社会福祉学科			児童学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	47	50	94.0%	98	102	96.1%
2	50	70	71.4%	98	109	89.9%
3	58	84	69.0%	116	136	85.3%
4	43	91	47.3%	57	127	44.9%
学科全体	198	295	67.1%	369	474	77.8%

c) 国際文化学部

学年	国際文化学科			音楽学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	86	96	89.6%	12	12	100.0%
2	61	99	61.6%	9	9	100.0%
3	63	112	56.3%	9	14	64.3%
4	30	119	25.2%	4	18	22.2%
学科全体	240	426	56.3%	34	53	64.2%

d) 看護学部

学年	看護学科		
	回答者数	在学者数	回答率
1	77	79	97.5%
2	31	82	37.8%
3	0	70	0.0%
4	0	0	0.0%
学科全体	108	231	46.8%

2 学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析

(1) 各設問に対する集計結果

① 教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	9,906	82.7%	4,504	80.6%	2,708	82.7%	1,579	87.3%	1,115	85.0%
どちらかと言えばそう思う	1,518	12.7%	773	13.8%	435	13.3%	160	8.8%	150	11.4%
どちらとも言えない	400	3.3%	215	3.8%	96	2.9%	49	2.7%	40	3.1%
どちらかと言えばそう思わない	93	0.8%	55	1.0%	20	0.6%	13	0.7%	5	0.4%
そう思わない	66	0.6%	42	0.8%	15	0.5%	8	0.4%	1	0.1%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	4,504	80.6%	1,708	76.4%	2,796	83.4%
どちらかと言えばそう思う	773	13.8%	364	16.3%	409	12.2%
どちらとも言えない	215	3.8%	103	4.6%	112	3.3%
どちらかと言えばそう思わない	55	1.0%	31	1.4%	24	0.7%
そう思わない	42	0.8%	29	1.3%	13	0.4%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,708	82.7%	932	78.8%	1,776	84.9%
どちらかと言えばそう思う	435	13.3%	180	15.2%	255	12.2%
どちらとも言えない	96	2.9%	56	4.7%	40	1.9%
どちらかと言えばそう思わない	20	0.6%	8	0.7%	12	0.6%
そう思わない	15	0.5%	6	0.5%	9	0.4%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,579	87.3%	1,460	88.0%	119	79.9%
どちらかと言えばそう思う	160	8.8%	139	8.4%	21	14.1%
どちらとも言えない	49	2.7%	44	2.7%	5	3.4%
どちらかと言えばそう思わない	13	0.7%	10	0.6%	3	2.0%
そう思わない	8	0.4%	7	0.4%	1	0.7%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,115	85.0%	1,115	85.0%
どちらかと言えばそう思う	150	11.4%	150	11.4%
どちらとも言えない	40	3.1%	40	3.1%
どちらかと言えばそう思わない	5	0.4%	5	0.4%
そう思わない	1	0.1%	1	0.1%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(82.7%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(12.7%)の順となっている。両者を合わせると 95.4%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。なお、6つの設問においてこの項目の評価が最も高い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和6年度前期(76.8%)と比較すると、5.9ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、国際文化学部(87.3%)が最も高く、経済学部(80.6%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、国際文化学科(88.0%)が最も高く、経済学科(76.4%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和6年度前期と比較すると、全ての学科において「そう思う」が上昇している。特に、音楽学科は令和6年度前期(69.2%)から、10.7ポイントと大幅に上昇している。

② 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	8,840	73.8%	4,046	72.4%	2,476	75.6%	1,432	79.2%	886	67.6%
どちらかと言えばそう思う	1,992	16.6%	910	16.3%	555	17.0%	243	13.4%	284	21.7%
どちらとも言えない	729	6.1%	374	6.7%	161	4.9%	89	4.9%	105	8.0%
どちらかと言えばそう思わない	265	2.2%	162	2.9%	51	1.6%	22	1.2%	30	2.3%
そう思わない	157	1.3%	97	1.7%	31	0.9%	23	1.3%	6	0.5%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	4,046	72.4%	1,530	68.5%	2,516	75.0%
どちらかと言えばそう思う	910	16.3%	386	17.3%	524	15.6%
どちらとも言えない	374	6.7%	174	7.8%	200	6.0%
どちらかと言えばそう思わない	162	2.9%	85	3.8%	77	2.3%
そう思わない	97	1.7%	60	2.7%	37	1.1%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,476	75.6%	863	73.0%	1,613	77.1%
どちらかと言えばそう思う	555	17.0%	215	18.2%	340	16.3%
どちらとも言えない	161	4.9%	82	6.9%	79	3.8%
どちらかと言えばそう思わない	51	1.6%	13	1.1%	38	1.8%
そう思わない	31	0.9%	9	0.8%	22	1.1%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,432	79.2%	1,326	79.9%	106	71.1%
どちらかと言えばそう思う	243	13.4%	218	13.1%	25	16.8%
どちらとも言えない	89	4.9%	81	4.9%	8	5.4%
どちらかと言えばそう思わない	22	1.2%	18	1.1%	4	2.7%
そう思わない	23	1.3%	17	1.0%	6	4.0%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	886	67.6%	886	67.6%
どちらかと言えばそう思う	284	21.7%	284	21.7%
どちらとも言えない	105	8.0%	105	8.0%
どちらかと言えばそう思わない	30	2.3%	30	2.3%
そう思わない	6	0.5%	6	0.5%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(73.8%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(16.6%)の順となっている。両者を合わせると 90.4%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度前期(67.3%)と比較すると、6.5 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、国際文化学部(79.2%)が最も高く、看護学部(67.6%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、国際文化学科(79.9%)が最も高く、看護学科(67.6%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度前期と比較すると、看護学科を除き「そう思う」が上昇している。特に、国際文化学科は令和 6 年度前期(66.3%)から、13.6 ポイントと大幅に上昇している。

③ 教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	8,347	69.7%	3,827	68.5%	2,355	71.9%	1,327	73.4%	838	63.9%
どちらかと言えばそう思う	2,292	19.1%	1,071	19.2%	626	19.1%	301	16.6%	294	22.4%
どちらとも言えない	896	7.5%	443	7.9%	193	5.9%	117	6.5%	143	10.9%
どちらかと言えばそう思わない	280	2.3%	146	2.6%	64	2.0%	43	2.4%	27	2.1%
そう思わない	168	1.4%	102	1.8%	36	1.1%	21	1.2%	9	0.7%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,827	68.5%	1,458	65.2%	2,369	70.6%
どちらかと言えばそう思う	1,071	19.2%	449	20.1%	622	18.5%
どちらとも言えない	443	7.9%	189	8.5%	254	7.6%
どちらかと言えばそう思わない	146	2.6%	75	3.4%	71	2.1%
そう思わない	102	1.8%	64	2.9%	38	1.1%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,355	71.9%	821	69.5%	1,534	73.3%
どちらかと言えばそう思う	626	19.1%	234	19.8%	392	18.7%
どちらとも言えない	193	5.9%	103	8.7%	90	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	64	2.0%	15	1.3%	49	2.3%
そう思わない	36	1.1%	9	0.8%	27	1.3%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,327	73.4%	1,238	74.6%	89	59.7%
どちらかと言えばそう思う	301	16.6%	272	16.4%	29	19.5%
どちらとも言えない	117	6.5%	100	6.0%	17	11.4%
どちらかと言えばそう思わない	43	2.4%	35	2.1%	8	5.4%
そう思わない	21	1.2%	15	0.9%	6	4.0%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	838	63.9%	838	63.9%
どちらかと言えばそう思う	294	22.4%	294	22.4%
どちらとも言えない	143	10.9%	143	10.9%
どちらかと言えばそう思わない	27	2.1%	27	2.1%
そう思わない	9	0.7%	9	0.7%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(69.7%)の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(19.1%)の順となっている。両者を合わせると 88.8%で、全体の 90%近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、国際文化学部(73.4%)が最も高く、看護学部(63.9%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、国際文化学科(74.6%)が最も高く、音楽学科(59.7%)が最も低くなっている。

④ 授業に集中しやすい環境が保たれていましたか(例えば、私語がないなど)。

※教室の広さ、Wi-Fi 環境、冷暖房の調整など担当教員の指導以外の要因は除きます。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	9,123	76.1%	4,205	75.2%	2,562	78.3%	1,406	77.7%	950	72.5%
どちらかと言えばそう思う	1,966	16.4%	954	17.1%	509	15.5%	261	14.4%	242	18.5%
どちらとも言えない	602	5.0%	276	4.9%	141	4.3%	98	5.4%	87	6.6%
どちらかと言えばそう思わない	179	1.5%	85	1.5%	39	1.2%	30	1.7%	25	1.9%
そう思わない	113	0.9%	69	1.2%	23	0.7%	14	0.8%	7	0.5%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	4,205	75.2%	1,604	71.8%	2,601	77.5%
どちらかと言えばそう思う	954	17.1%	401	17.9%	553	16.5%
どちらとも言えない	276	4.9%	133	6.0%	143	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	85	1.5%	51	2.3%	34	1.0%
そう思わない	69	1.2%	46	2.1%	23	0.7%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,562	78.3%	881	74.5%	1,681	80.4%
どちらかと言えばそう思う	509	15.5%	212	17.9%	297	14.2%
どちらとも言えない	141	4.3%	71	6.0%	70	3.3%
どちらかと言えばそう思わない	39	1.2%	12	1.0%	27	1.3%
そう思わない	23	0.7%	6	0.5%	17	0.8%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,406	77.7%	1,310	78.9%	96	64.4%
どちらかと言えばそう思う	261	14.4%	228	13.7%	33	22.1%
どちらとも言えない	98	5.4%	84	5.1%	14	9.4%
どちらかと言えばそう思わない	30	1.7%	28	1.7%	2	1.3%
そう思わない	14	0.8%	10	0.6%	4	2.7%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	950	72.5%	950	72.5%
どちらかと言えばそう思う	242	18.5%	242	18.5%
どちらとも言えない	87	6.6%	87	6.6%
どちらかと言えばそう思わない	25	1.9%	25	1.9%
そう思わない	7	0.5%	7	0.5%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(76.1%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(16.4%)の順となっている。両者を合わせると 92.5%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度前期(72.1%)と比較すると、4.0 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、福祉社会学部(78.3%)が最も高く、看護学部(72.5%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、児童学科(80.4%)が最も高く、音楽学科(64.4%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度前期と比較すると、音楽学科と看護学科を除き「そう思う」が上昇している。特に、国際文化学科は令和 6 年度前期(71.2%)から、7.7 ポイント上昇している。

⑤ 学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	7,877	65.7%	3,608	64.6%	2,244	68.5%	1,238	68.4%	787	60.0%
どちらかと言えばそう思う	2,627	21.9%	1,256	22.5%	689	21.0%	370	20.5%	312	23.8%
どちらとも言えない	1,061	8.9%	505	9.0%	234	7.1%	149	8.2%	173	13.2%
どちらかと言えばそう思わない	241	2.0%	114	2.0%	65	2.0%	29	1.6%	33	2.5%
そう思わない	177	1.5%	106	1.9%	42	1.3%	23	1.3%	6	0.5%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,608	64.6%	1,371	61.3%	2,237	66.7%
どちらかと言えばそう思う	1,256	22.5%	520	23.3%	736	21.9%
どちらとも言えない	505	9.0%	225	10.1%	280	8.3%
どちらかと言えばそう思わない	114	2.0%	51	2.3%	63	1.9%
そう思わない	106	1.9%	68	3.0%	38	1.1%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,244	68.5%	756	64.0%	1,488	71.1%
どちらかと言えばそう思う	689	21.0%	279	23.6%	410	19.6%
どちらとも言えない	234	7.1%	108	9.1%	126	6.0%
どちらかと言えばそう思わない	65	2.0%	26	2.2%	39	1.9%
そう思わない	42	1.3%	13	1.1%	29	1.4%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,238	68.4%	1,152	69.4%	86	57.7%
どちらかと言えばそう思う	370	20.5%	332	20.0%	38	25.5%
どちらとも言えない	149	8.2%	132	8.0%	17	11.4%
どちらかと言えばそう思わない	29	1.6%	27	1.6%	2	1.3%
そう思わない	23	1.3%	17	1.0%	6	4.0%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	787	60.0%	787	60.0%
どちらかと言えばそう思う	312	23.8%	312	23.8%
どちらとも言えない	173	13.2%	173	13.2%
どちらかと言えばそう思わない	33	2.5%	33	2.5%
そう思わない	6	0.5%	6	0.5%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(65.7%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(21.9%)の順となっている。両者を合わせると 87.6%で、全体の 90%近く占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度前期(62.0%)と比較すると、3.7 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、福祉社会学部(68.5%)が最も高く、看護学部(60.0%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、児童学科(71.1%)が最も高く、音楽学科(57.7%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度前期と比較すると「そう思う」は、経済学科 (55.2%→61.3%)、経営学科 (59.8%→66.7%)、社会福祉学科 (65.2%→64.0%)、児童学科 (69.8%→71.1%)、国際文化学科 (60.7%→69.4%)、音楽学科 (55.6%→57.7%)、看護学科 (65.5%→60.0%) となっている。社会福祉学科と看護学科を除き「そう思う」が上昇しており、特に国際文化学科は令和 6 年度前期から 8.7 ポイント上昇している。

⑥ この授業の受講を他の人に勧めたいですか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	8,340	69.6%	3,864	69.1%	2,343	71.6%	1,292	71.4%	841	64.1%
どちらかと言えばそう思う	2,174	18.1%	1,021	18.3%	582	17.8%	301	16.6%	270	20.6%
どちらとも言えない	1,036	8.6%	467	8.4%	247	7.5%	156	8.6%	166	12.7%
どちらかと言えばそう思わない	211	1.8%	98	1.8%	52	1.6%	35	1.9%	26	2.0%
そう思わない	222	1.9%	139	2.5%	50	1.5%	25	1.4%	8	0.6%
合計	11,983		5,589		3,274		1,809		1,311	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,864	69.1%	1,464	65.5%	2,400	71.6%
どちらかと言えばそう思う	1,021	18.3%	427	19.1%	594	17.7%
どちらとも言えない	467	8.4%	213	9.5%	254	7.6%
どちらかと言えばそう思わない	98	1.8%	48	2.1%	50	1.5%
そう思わない	139	2.5%	83	3.7%	56	1.7%
合計	5,589		2,235		3,354	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,343	71.6%	792	67.0%	1,551	74.1%
どちらかと言えばそう思う	582	17.8%	229	19.4%	353	16.9%
どちらとも言えない	247	7.5%	130	11.0%	117	5.6%
どちらかと言えばそう思わない	52	1.6%	15	1.3%	37	1.8%
そう思わない	50	1.5%	16	1.4%	34	1.6%
合計	3,274		1,182		2,092	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,292	71.4%	1,201	72.3%	91	61.1%
どちらかと言えばそう思う	301	16.6%	275	16.6%	26	17.4%
どちらとも言えない	156	8.6%	136	8.2%	20	13.4%
どちらかと言えばそう思わない	35	1.9%	28	1.7%	7	4.7%
そう思わない	25	1.4%	20	1.2%	5	3.4%
合計	1,809		1,660		149	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	841	64.1%	841	64.1%
どちらかと言えばそう思う	270	20.6%	270	20.6%
どちらとも言えない	166	12.7%	166	12.7%
どちらかと言えばそう思わない	26	2.0%	26	2.0%
そう思わない	8	0.6%	8	0.6%
合計	1,311		1,311	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(69.6%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(18.1%)の順となっている。両者を合わせると 87.7%で、全体の 90%近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度前期(67.4%)と比較すると、2.2 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」を比較すると、福祉社会学部(71.6%)が最も高く、看護学部(64.1%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」を比較すると、児童学科(74.1%)が最も高く、音楽学科(61.1%)が最も低くなっている。
- ・学部別に令和 6 年度前期と比較すると、「そう思う」が上昇しているのは、経済学部 (69.1%)、国際文化学部 (71.4%) となっている。ともに 5 ポイント程度の上昇となっている。
- ・学科別に令和 6 年度前期と比較すると「そう思う」は、経済学科 (59.6%→65.5%)、経営学科 (66.6%→71.6%)、社会福祉学科 (69.5%→67.0%)、児童学科 (74.9%→74.1%)、国際文化学科 (66.5%→72.3%)、音楽学科 (62.4%→61.1%)、看護学科 (70.7%→64.1%) となっている。
- ・この設問に至るまでの 5 つの設問で 90%前後の概ね高い評価を得ていたことが、この満足度の結果につながっている。

(2) 各設問に対する5段階評価の平均

アンケート設問1の①～⑥について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別・学年別に表にまとめた。集計表内の平均値は、小数点第3位以下を四捨五入し、第2位までとした。

5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

設問①～⑥は、次のように略記する。

①【準備の周到さ】 ②【明瞭な話し方】 ③【説明の理解】 ④【環境の整備】
⑤【学習意欲の喚起】 ⑥【授業の推奨度】

1) 5段階評価の平均値

a) 学科別

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
大学全体		4.76	4.59	4.53	4.65	4.48	4.52
経済学部	経済学科	4.65	4.45	4.41	4.55	4.38	4.41
	経営学科	4.77	4.61	4.55	4.69	4.51	4.56
福祉社会学部	社会福祉学科	4.71	4.62	4.56	4.65	4.47	4.49
	児童学科	4.81	4.67	4.60	4.72	4.57	4.60
国際文化学部	国際文化学科	4.83	4.70	4.62	4.69	4.55	4.57
	音楽学科	4.70	4.48	4.26	4.44	4.32	4.28
看護学部	看護学科	4.81	4.54	4.47	4.60	4.40	4.46

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.65	4.45	4.41	4.55	4.38	4.41
学年	1	4.63	4.38	4.36	4.51	4.34	4.37
	2	4.68	4.52	4.47	4.62	4.41	4.43
	3	4.71	4.57	4.54	4.62	4.49	4.53
	4	4.56	4.42	4.31	4.40	4.24	4.28

(イ) 経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.77	4.61	4.55	4.69	4.51	4.56
学年	1	4.76	4.54	4.48	4.68	4.46	4.52
	2	4.79	4.66	4.62	4.72	4.57	4.62
	3	4.80	4.68	4.60	4.71	4.52	4.57
	4	4.69	4.64	4.55	4.57	4.49	4.48

(ウ) 社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.71	4.62	4.56	4.65	4.47	4.49
学年	1	4.85	4.74	4.67	4.75	4.61	4.64
	2	4.64	4.56	4.53	4.57	4.43	4.43
	3	4.64	4.53	4.49	4.58	4.40	4.41
	4	4.65	4.57	4.48	4.67	4.35	4.41

(エ) 児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.81	4.67	4.60	4.72	4.57	4.60
学年	1	4.84	4.69	4.62	4.73	4.60	4.60
	2	4.72	4.59	4.57	4.63	4.47	4.53
	3	4.83	4.67	4.61	4.80	4.62	4.66
	4	4.90	4.86	4.68	4.79	4.69	4.73

(オ) 国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.83	4.70	4.62	4.69	4.55	4.57
学年	1	4.83	4.64	4.56	4.63	4.48	4.52
	2	4.81	4.72	4.60	4.71	4.51	4.53
	3	4.81	4.75	4.67	4.75	4.66	4.68
	4	4.90	4.80	4.81	4.77	4.71	4.68

(カ) 音楽学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.70	4.48	4.26	4.44	4.32	4.28
学年	1	4.74	4.52	4.26	4.53	4.37	4.29
	2	4.75	4.54	4.18	4.43	4.21	4.21
	3	4.52	4.28	4.36	4.28	4.32	4.40
	4	4.70	4.50	4.20	4.10	4.10	4.10

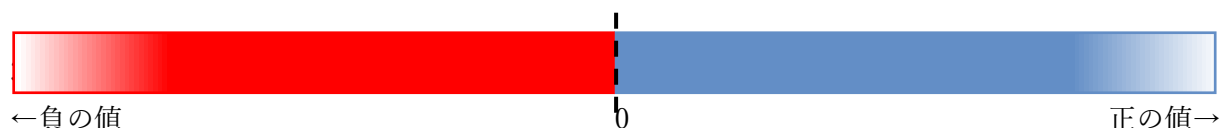
(キ) 看護学科

3 年生は実習期間中のため、授業アンケート回答の対象科目がない。よって灰色の網掛けで表示している。

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.81	4.54	4.47	4.60	4.40	4.46
学年	1	4.89	4.57	4.52	4.61	4.42	4.50
	2	4.61	4.45	4.34	4.58	4.36	4.34
	3						

2) 平均値の乖離状況

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のデータバーを用いて表示する。



データバーの表示にあたって設定した最小値・最大値は、次のとおりである。

「5段階評価の平均値」について、データの最小値は 4.08 のため、データバーの最小値を 4 としている。

「大学全体の平均値との乖離状況」について、データの絶対値を比較したとき最大値は 0.43 のため、データバーの最小値を -0.43、最大値を 0.43 としている。

これらの最小値・最大値については、前期・後期ともに共通である。

a) 大学全体の平均値と各学科の平均値

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
経済学部	経済学科	-0.11	-0.14	-0.12	-0.10	-0.10	-0.11
	経営学科	0.01	0.02	0.02	0.04	0.03	0.04
福祉社会学部	社会福祉学科	-0.05	0.03	0.03	0	-0.01	-0.03
	児童学科	0.05	0.08	0.07	0.07	0.09	0.08
国際文化学部	国際文化学科	0.07	0.11	0.09	0.04	0.07	0.05
	音楽学科	-0.06	-0.11	-0.27	-0.21	-0.16	-0.24
看護学部	看護学科	0.05	-0.05	-0.06	-0.05	-0.08	-0.06

b) 各学科の平均値と学年別の平均値

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.02	-0.07	-0.05	-0.04	-0.04	-0.04
	2	0.03	0.07	0.06	0.07	0.03	0.02
	3	0.06	0.12	0.13	0.07	0.11	0.12
	4	-0.09	-0.03	-0.10	-0.15	-0.14	-0.13

(イ)経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.01	-0.07	-0.07	-0.01	-0.05	-0.04
	2	0.02	0.05	0.07	0.03	0.06	0.06
	3	0.03	0.07	0.05	0.02	0.01	0.01
	4	-0.08	0.03	0	-0.12	-0.02	-0.08

(ウ)社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.14	0.12	0.11	0.10	0.14	0.15
	2	-0.07	-0.06	-0.03	-0.08	-0.04	-0.06
	3	-0.07	-0.09	-0.07	-0.07	-0.07	-0.08
	4	-0.06	-0.05	-0.08	0.02	-0.12	-0.08

(エ)児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.03	0.02	0.02	0.01	0.03	0
	2	-0.09	-0.08	-0.03	-0.09	-0.10	-0.07
	3	0.02	0	0.01	0.08	0.05	0.06
	4	0.09	0.19	0.08	0.07	0.12	0.13

(オ) 国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0	-0.06	-0.06	-0.06	-0.07	-0.05
	2	-0.02	0.02	-0.02	0.02	-0.04	-0.04
	3	-0.02	0.05	0.05	0.06	0.11	0.11
	4	0.07	0.10	0.19	0.08	0.16	0.11

(カ) 音楽学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.04	0.04	0	0.09	0.05	0.01
	2	0.05	0.06	-0.08	-0.01	-0.11	-0.07
	3	-0.18	-0.20	0.10	-0.16	0	0.12
	4	0	0.02	-0.06	-0.34	-0.22	-0.18

(キ) 看護学科

3 年生は実習期間中のため、授業アンケート回答の対象科目がない。よって灰色の網掛けで表示している。

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.08	0.03	0.05	0.01	0.02	0.04
	2	-0.20	-0.09	-0.13	-0.02	-0.04	-0.12
	3						

①大学全体

- ・大学全体では、総合満足度の指標となる設問⑥【授業の推奨度】の平均値は 4.52 であり、学生は授業に概ね満足しているといえる。令和 5 年度前期からの経年でみると、令和 5 年度前期 4.51、令和 6 年度前期 4.52、令和 7 年度前期 4.52 という結果となっている。
- ・設問⑥以外の平均値も 4.48 以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ・大学全体の最も高い評価となっているのは、教員の授業に対する準備について評価する設問①【準備の周到さ】の 4.76 となっている。一方で、最も低い評価は学びに対する意欲をかきたてられたかを評価する設問⑤【学習意欲の喚起】の 4.48 となっている。
- ・令和 6 年度前期と比較すると、設問⑥【授業の推奨度】は横ばいとなっているが、その他の評価は上昇しており、授業満足値の底上げができています。

②経済学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別で比較すると、設問①【準備の周到さ】の 4.65 と、教員の説明の聞き取りやすさを評価する設問②【明瞭な話し方】の 4.45 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、受講しやすい環境を評価する設問④【環境の整備】を除き、3 年生の評価が最も高くなっている。また、設問②を除き、4 年生の評価が最も低い。
- ・令和 6 年度前期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができています。

③経営学科

- ・全てにおいて大学全体の評価との差は 0.01～0.04 ポイント程度であり、大学全体の評価に最も近い。
- ・学年別で比較すると、1～3 年生の評価に大きな差はない。また、設問①【準備の周到さ】と設問②【明瞭な話し方】を除き、2 年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和 6 年度前期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、経済学科と同様に授業満足度の底上げができています。

④社会福祉学科

- ・全てにおいて大学全体の評価との差は 0.01～0.05 ポイント程度であり、経営学科に次いで大学全体の評価に近い。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて 1 年生の評価が最も高くなっている。また、2～4 年生は、ほぼ同じような評価となっている。
- ・令和 6 年度前期と比較すると、設問①【準備の周到さ】と設問②【明瞭な話し方】の評価が上昇している。

⑤児童学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価といえる。
- ・学科別で比較すると、設問④【環境の整備】の4.72、設問⑤【学習意欲の喚起】の4.57、設問⑥【授業の推奨度】の4.60は全学科で最も高い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて2年生の評価が最も低くなっている。
- ・令和6年度前期と比較すると、設問⑥【授業の推奨度】を除き、評価が上昇している。

⑥国際文化学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価といえる。
- ・学科別で比較すると、設問①【準備の周到さ】の4.83、設問②【明瞭な話し方】の4.70、教員の説明に対する学生の理解度を評価する設問③【説明の理解】の4.62は全学科で最も高い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、設問⑥【授業の推奨度】を除き、4年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和6年度前期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができている。

⑦音楽学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別で比較すると、設問①【準備の周到さ】と設問②【明瞭な話し方】を除き、最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、4年生の評価が低く、特に設問④【環境の整備】、設問⑤【学習意欲の喚起】及び設問⑥【授業の推奨度】は全学年で最も低くなっている。
- ・令和6年度前期と比較すると、設問①【準備の周到さ】、設問②【明瞭な話し方】及び設問⑤【学習意欲の喚起】において評価が上昇している。

⑧看護学科

- ・設問①【準備の周到さ】を除き、大学全体の評価を下回っている。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて1年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和6年度前期と比較すると、設問①【準備の周到さ】を除き、評価が低くなっている。

Ⅳ 後期授業アンケート結果の分析について

1 後期のアンケート回答状況

1) 大学全体

学年	大学全体		
	回答者数	在学者数	回答率
1	521	686	75.9%
2	440	711	61.9%
3	371	722	51.4%
4	132	738	17.9%
大学全体	1,464	2,857	51.2%

学年	経済学部			福祉社会学部			国際文化学部			看護学部		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	275	347	79.3%	100	152	65.8%	76	108	70.4%	70	79	88.6%
2	221	342	64.6%	135	179	75.4%	52	108	48.1%	32	82	39.0%
3	134	306	43.8%	164	220	74.5%	56	126	44.4%	17	70	24.3%
4	66	383	17.2%	46	218	21.1%	20	137	14.6%	0	0	0.0%
学部全体	696	1,378	50.5%	445	769	57.9%	204	479	42.6%	119	231	51.5%

3) 学部別

e) 経済学部

学年	経済学科			経営学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	114	153	74.5%	161	194	83.0%
2	58	123	47.2%	163	219	74.4%
3	44	141	31.2%	90	165	54.5%
4	34	185	18.4%	32	198	16.2%
学科全体	250	602	41.5%	446	776	57.5%

f) 福祉社会学部

学年	社会福祉学科			児童学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	44	50	88.0%	56	102	54.9%
2	40	70	57.1%	95	109	87.2%
3	56	84	66.7%	108	136	79.4%
4	32	91	35.2%	14	127	11.0%
学科全体	172	295	58.3%	273	474	57.6%

g) 国際文化学部

学年	国際文化学科			音楽学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	71	96	74.0%	5	12	41.7%
2	46	99	46.5%	6	9	66.7%
3	53	112	47.3%	3	14	21.4%
4	18	119	15.1%	2	18	11.1%
学科全体	188	426	44.1%	16	53	30.2%

h) 看護学部

学年	看護学科		
	回答者数	在学者数	回答率
1	70	79	88.6%
2	32	82	39.0%
3	17	70	24.3%
4	0	0	0.0%
学科全体	119	231	51.5%

2 学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析

(1) 各設問に対する集計結果

① 教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	7,370	78.7%	3,670	78.9%	1,654	76.9%	1,107	82.1%	939	77.5%
どちらかと言えばそう思う	1,490	15.9%	730	15.7%	366	17.0%	191	14.2%	203	16.8%
どちらとも言えない	364	3.9%	189	4.1%	78	3.6%	36	2.7%	61	5.0%
どちらかと言えばそう思わない	72	0.8%	29	0.6%	25	1.2%	12	0.9%	6	0.5%
そう思わない	66	0.7%	32	0.7%	29	1.3%	3	0.2%	2	0.2%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,670	78.9%	1,371	76.1%	2,299	80.7%
どちらかと言えばそう思う	730	15.7%	295	16.4%	435	15.3%
どちらとも言えない	189	4.1%	99	5.5%	90	3.2%
どちらかと言えばそう思わない	29	0.6%	16	0.9%	13	0.5%
そう思わない	32	0.7%	21	1.2%	11	0.4%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,654	76.9%	610	76.7%	1,044	76.9%
どちらかと言えばそう思う	366	17.0%	123	15.5%	243	17.9%
どちらとも言えない	78	3.6%	37	4.7%	41	3.0%
どちらかと言えばそう思わない	25	1.2%	9	1.1%	16	1.2%
そう思わない	29	1.3%	16	2.0%	13	1.0%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,107	82.1%	1,028	81.7%	79	86.8%
どちらかと言えばそう思う	191	14.2%	182	14.5%	9	9.9%
どちらとも言えない	36	2.7%	33	2.6%	3	3.3%
どちらかと言えばそう思わない	12	0.9%	12	1.0%	0	0.0%
そう思わない	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	939	77.5%	939	77.5%
どちらかと言えばそう思う	203	16.8%	203	16.8%
どちらとも言えない	61	5.0%	61	5.0%
どちらかと言えばそう思わない	6	0.5%	6	0.5%
そう思わない	2	0.2%	2	0.2%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(78.7%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(15.9%)の順となっている。両者を合わせると 94.6%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。なお、6つの設問においてこの項目の評価が最も高い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和6年度後期(78.5%)と比較すると、0.2ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、国際文化学部(82.1%)が最も高く、看護学部(77.5%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(86.8%)が最も高く、経済学科(76.1%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和6年度後期と比較すると、児童学科と看護学科において「そう思う」の割合が低くなっている。特に、児童学科は令和6年度後期(83.2%)から、6.3ポイント低くなっている。

② 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか(例えば、適切な速さや声量)。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,675	71.3%	3,302	71.0%	1,558	72.4%	999	74.1%	816	67.4%
どちらかと言えばそう思う	1,720	18.4%	877	18.9%	352	16.4%	240	17.8%	251	20.7%
どちらとも言えない	651	7.0%	328	7.1%	145	6.7%	69	5.1%	109	9.0%
どちらかと言えばそう思わない	173	1.8%	83	1.8%	40	1.9%	22	1.6%	28	2.3%
そう思わない	143	1.5%	60	1.3%	57	2.6%	19	1.4%	7	0.6%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,302	71.0%	1,238	68.7%	2,064	72.5%
どちらかと言えばそう思う	877	18.9%	338	18.8%	539	18.9%
どちらとも言えない	328	7.1%	155	8.6%	173	6.1%
どちらかと言えばそう思わない	83	1.8%	34	1.9%	49	1.7%
そう思わない	60	1.3%	37	2.1%	23	0.8%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,558	72.4%	572	71.9%	986	72.7%
どちらかと言えばそう思う	352	16.4%	126	15.8%	226	16.7%
どちらとも言えない	145	6.7%	58	7.3%	87	6.4%
どちらかと言えばそう思わない	40	1.9%	18	2.3%	22	1.6%
そう思わない	57	2.6%	21	2.6%	36	2.7%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	999	74.1%	927	73.7%	72	79.1%
どちらかと言えばそう思う	240	17.8%	231	18.4%	9	9.9%
どちらとも言えない	69	5.1%	63	5.0%	6	6.6%
どちらかと言えばそう思わない	22	1.6%	20	1.6%	2	2.2%
そう思わない	19	1.4%	17	1.4%	2	2.2%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	816	67.4%	816	67.4%
どちらかと言えばそう思う	251	20.7%	251	20.7%
どちらとも言えない	109	9.0%	109	9.0%
どちらかと言えばそう思わない	28	2.3%	28	2.3%
そう思わない	7	0.6%	7	0.6%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(71.3%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(18.4%)の順となっている。両者を合わせると 89.7%で、全体の 90%近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度後期(69.7%)と比較すると、1.6 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、国際文化学部(74.1%)が最も高く、看護学部(67.4%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(79.1%)が最も高く、看護学科(67.4%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度後期と比較すると、児童学科を除き「そう思う」が上昇している。特に、社会福祉学科は令和 6 年度後期(64.1%)から、7.8 ポイント上昇している。

③ 教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,322	67.5%	3,147	67.7%	1,487	69.1%	922	68.3%	766	63.3%
どちらかと言えばそう思う	1,965	21.0%	992	21.3%	400	18.6%	281	20.8%	292	24.1%
どちらとも言えない	719	7.7%	373	8.0%	144	6.7%	98	7.3%	104	8.6%
どちらかと言えばそう思わない	200	2.1%	77	1.7%	55	2.6%	32	2.4%	36	3.0%
そう思わない	156	1.7%	61	1.3%	66	3.1%	16	1.2%	13	1.1%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,147	67.7%	1,186	65.8%	1,961	68.9%
どちらかと言えばそう思う	992	21.3%	370	20.5%	622	21.8%
どちらとも言えない	373	8.0%	173	9.6%	200	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	77	1.7%	38	2.1%	39	1.4%
そう思わない	61	1.3%	35	1.9%	26	0.9%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,487	69.1%	527	66.3%	960	70.7%
どちらかと言えばそう思う	400	18.6%	157	19.7%	243	17.9%
どちらとも言えない	144	6.7%	65	8.2%	79	5.8%
どちらかと言えばそう思わない	55	2.6%	18	2.3%	37	2.7%
そう思わない	66	3.1%	28	3.5%	38	2.8%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	922	68.3%	854	67.9%	68	74.7%
どちらかと言えばそう思う	281	20.8%	271	21.5%	10	11.0%
どちらとも言えない	98	7.3%	88	7.0%	10	11.0%
どちらかと言えばそう思わない	32	2.4%	29	2.3%	3	3.3%
そう思わない	16	1.2%	16	1.3%	0	0.0%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	766	63.3%	766	63.3%
どちらかと言えばそう思う	292	24.1%	292	24.1%
どちらとも言えない	104	8.6%	104	8.6%
どちらかと言えばそう思わない	36	3.0%	36	3.0%
そう思わない	13	1.1%	13	1.1%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(67.5%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(21.0%)の順となっている。両者を合わせると 88.5%で、全体の 90%近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度後期(65.2%)と比較すると、2.3 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、福祉社会学部(69.1%)が最も高く、看護学部(63.3%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(74.7%)が最も高く、看護学科(63.3%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度後期と比較すると、児童学科と音楽学科を除き「そう思う」が上昇している。特に、社会福祉学科は令和 6 年度後期(58.4%)から、7.9 ポイント上昇している。

④ 授業に集中しやすい環境が保たれていましたか(例えば、私語がないなど)。

※教室の広さ、Wi-Fi 環境、冷暖房の調整など担当教員の指導以外の要因は除きます。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,916	73.9%	3,382	72.7%	1,621	75.3%	1,036	76.8%	877	72.4%
どちらかと言えばそう思う	1,708	18.2%	866	18.6%	360	16.7%	238	17.6%	244	20.1%
どちらとも言えない	529	5.7%	285	6.1%	107	5.0%	55	4.1%	82	6.8%
どちらかと言えばそう思わない	116	1.2%	69	1.5%	29	1.3%	13	1.0%	5	0.4%
そう思わない	93	1.0%	48	1.0%	35	1.6%	7	0.5%	3	0.2%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,382	72.7%	1,272	70.6%	2,110	74.1%
どちらかと言えばそう思う	866	18.6%	344	19.1%	522	18.3%
どちらとも言えない	285	6.1%	128	7.1%	157	5.5%
どちらかと言えばそう思わない	69	1.5%	29	1.6%	40	1.4%
そう思わない	48	1.0%	29	1.6%	19	0.7%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,621	75.3%	608	76.5%	1,013	74.6%
どちらかと言えばそう思う	360	16.7%	115	14.5%	245	18.1%
どちらとも言えない	107	5.0%	48	6.0%	59	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	29	1.3%	8	1.0%	21	1.5%
そう思わない	35	1.6%	16	2.0%	19	1.4%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,036	76.8%	959	76.2%	77	84.6%
どちらかと言えばそう思う	238	17.6%	227	18.0%	11	12.1%
どちらとも言えない	55	4.1%	53	4.2%	2	2.2%
どちらかと言えばそう思わない	13	1.0%	12	1.0%	1	1.1%
そう思わない	7	0.5%	7	0.6%	0	0.0%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	877	72.4%	877	72.4%
どちらかと言えばそう思う	244	20.1%	244	20.1%
どちらとも言えない	82	6.8%	82	6.8%
どちらかと言えばそう思わない	5	0.4%	5	0.4%
そう思わない	3	0.2%	3	0.2%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(73.9%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(18.2%)の順となっている。両者を合わせると 92.1%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度後期(71.4%)と比較すると、2.5 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、国際文化学部(76.8%)が最も高く、看護学部(72.4%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(84.6%)が最も高く、経済学科(70.6%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度後期と比較すると、児童学科と看護学科を除き「そう思う」が上昇している。特に、社会福祉学科は令和 6 年度後期(67.4%)から、9.1 ポイント上昇している。

⑤ 学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,054	64.7%	2,991	64.3%	1,428	66.4%	888	65.8%	747	61.7%
どちらかと言えばそう思う	2,102	22.5%	1,085	23.3%	444	20.6%	304	22.5%	269	22.2%
どちらとも言えない	838	9.0%	415	8.9%	167	7.8%	114	8.5%	142	11.7%
どちらかと言えばそう思わない	203	2.2%	97	2.1%	46	2.1%	25	1.9%	35	2.9%
そう思わない	165	1.8%	62	1.3%	67	3.1%	18	1.3%	18	1.5%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,991	64.3%	1,120	62.2%	1,871	65.7%
どちらかと言えばそう思う	1,085	23.3%	409	22.7%	676	23.7%
どちらとも言えない	415	8.9%	188	10.4%	227	8.0%
どちらかと言えばそう思わない	97	2.1%	56	3.1%	41	1.4%
そう思わない	62	1.3%	29	1.6%	33	1.2%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,428	66.4%	498	62.6%	930	68.5%
どちらかと言えばそう思う	444	20.6%	185	23.3%	259	19.1%
どちらとも言えない	167	7.8%	71	8.9%	96	7.1%
どちらかと言えばそう思わない	46	2.1%	14	1.8%	32	2.4%
そう思わない	67	3.1%	27	3.4%	40	2.9%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	888	65.8%	820	65.2%	68	74.7%
どちらかと言えばそう思う	304	22.5%	290	23.1%	14	15.4%
どちらとも言えない	114	8.5%	107	8.5%	7	7.7%
どちらかと言えばそう思わない	25	1.9%	23	1.8%	2	2.2%
そう思わない	18	1.3%	18	1.4%	0	0.0%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	747	61.7%	747	61.7%
どちらかと言えばそう思う	269	22.2%	269	22.2%
どちらとも言えない	142	11.7%	142	11.7%
どちらかと言えばそう思わない	35	2.9%	35	2.9%
そう思わない	18	1.5%	18	1.5%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(64.7%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(22.5%)の順となっている。両者を合わせると 87.2%で、全体の 80%後半を占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度後期(59.6%)と比較すると、5.1 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、福祉社会学部(66.4%)が最も高く、看護学部(61.7%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(74.7%)が最も高く、看護学科(61.7%)が最も低くなっている。
- ・学科別に令和 6 年度後期と比較すると「そう思う」の回答は、経済学科 (56.5%→62.2%)、経営学科 (60.1%→65.7%)、社会福祉学科 (53.4%→62.6%)、児童学科 (67.4%→68.5%)、国際文化学科 (59.7%→65.2%)、音楽学科 (71.9%→74.7%)、看護学科 (52.3%→61.7%) となっている。全ての学科において「そう思う」が上昇しており、特に看護学科は令和 6 年度後期から 9.4 ポイント上昇している。

⑥ この授業の受講を他の人に勧めたいですか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,317	67.5%	3,185	68.5%	1,471	68.4%	904	67.0%	757	62.5%
どちらかと言えばそう思う	1,836	19.6%	912	19.6%	387	18.0%	265	19.6%	272	22.5%
どちらとも言えない	856	9.1%	412	8.9%	179	8.3%	126	9.3%	139	11.5%
どちらかと言えばそう思わない	184	2.0%	75	1.6%	44	2.0%	36	2.7%	29	2.4%
そう思わない	169	1.8%	66	1.4%	71	3.3%	18	1.3%	14	1.2%
合計	9,362		4,650		2,152		1,349		1,211	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	3,185	68.5%	1,184	65.7%	2,001	70.3%
どちらかと言えばそう思う	912	19.6%	361	20.0%	551	19.3%
どちらとも言えない	412	8.9%	181	10.0%	231	8.1%
どちらかと言えばそう思わない	75	1.6%	41	2.3%	34	1.2%
そう思わない	66	1.4%	35	1.9%	31	1.1%
合計	4,650		1,802		2,848	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,471	68.4%	514	64.7%	957	70.5%
どちらかと言えばそう思う	387	18.0%	158	19.9%	229	16.9%
どちらとも言えない	179	8.3%	84	10.6%	95	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	44	2.0%	15	1.9%	29	2.1%
そう思わない	71	3.3%	24	3.0%	47	3.5%
合計	2,152		795		1,357	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	904	67.0%	833	66.2%	71	78.0%
どちらかと言えばそう思う	265	19.6%	258	20.5%	7	7.7%
どちらとも言えない	126	9.3%	117	9.3%	9	9.9%
どちらかと言えばそう思わない	36	2.7%	32	2.5%	4	4.4%
そう思わない	18	1.3%	18	1.4%	0	0.0%
合計	1,349		1,258		91	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	757	62.5%	757	62.5%
どちらかと言えばそう思う	272	22.5%	272	22.5%
どちらとも言えない	139	11.5%	139	11.5%
どちらかと言えばそう思わない	29	2.4%	29	2.4%
そう思わない	14	1.2%	14	1.2%
合計	1,211		1,211	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(67.5%)の割合が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(19.6%)の順となっている。両者を合わせると 87.1%で、全体の 80%後半を占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 6 年度後期(63.0%)と比較すると、4.5 ポイント上昇している。
- ・学部別に「そう思う」の回答を比較すると、経済学部(68.5%)が最も高く、看護学部(62.5%)が最も低くなっている。
- ・学科別に「そう思う」の回答を比較すると、音楽学科(78.0%)が最も高く、看護学科(62.5%)が最も低くなっている。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全ての学科において「そう思う」が上昇している。特に、社会福祉学科は令和 6 年度後期(53.1%)から、11.6 ポイント上昇している。
- ・学科別に令和 6 年度後期と比較すると「そう思う」の回答は、経済学科 (61.9%→65.7%)、経営学科 (65.0%→70.3%)、社会福祉学科 (53.1%→64.7%)、児童学科 (69.9%→70.5%)、国際文化学科 (61.5%→66.2%)、音楽学科 (69.8%→78.0%)、看護学科 (58.5%→62.5%) となっている。
- ・この設問に至るまでの 5 つの設問で 90%前後の評価を得ていたことがこの満足度の結果につながっている。

(2) 各設問に対する5段階評価の平均

アンケート設問1の①～⑥について、5段階評価の平均値を大学全体・学科別・学年別に表にまとめた。集計表内の平均値は、小数点第3位以下を四捨五入し、第2位までとした。

5段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

設問①～⑥は、次のように略記する。

①【準備の周到さ】 ②【明瞭な話し方】 ③【説明の理解】 ④【環境の整備】
⑤【学習意欲の喚起】 ⑥【授業の推奨度】

1) 5段階評価の平均値

a) 学科別

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
大学全体		4.71	4.56	4.51	4.63	4.46	4.49
経済学部	経済学科	4.65	4.50	4.46	4.55	4.41	4.45
	経営学科	4.75	4.61	4.56	4.64	4.51	4.56
福祉社会学部	社会福祉学科	4.64	4.52	4.43	4.62	4.40	4.41
	児童学科	4.69	4.55	4.51	4.63	4.48	4.49
国際文化学部	国際文化学科	4.76	4.61	4.52	4.68	4.49	4.48
	音楽学科	4.84	4.62	4.57	4.80	4.63	4.59
看護学部	看護学科	4.71	4.52	4.45	4.64	4.40	4.43

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.65	4.50	4.46	4.55	4.41	4.45
学年	1	4.70	4.57	4.51	4.61	4.48	4.50
	2	4.72	4.54	4.50	4.60	4.38	4.49
	3	4.45	4.27	4.30	4.37	4.24	4.26
	4	4.50	4.36	4.34	4.38	4.28	4.39

(イ)経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.75	4.61	4.56	4.64	4.51	4.56
学年	1	4.73	4.55	4.52	4.58	4.47	4.50
	2	4.79	4.66	4.59	4.68	4.54	4.64
	3	4.77	4.65	4.62	4.70	4.57	4.60
	4	4.79	4.70	4.65	4.72	4.64	4.56

(ウ)社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.64	4.52	4.43	4.62	4.40	4.41
学年	1	4.71	4.53	4.42	4.68	4.42	4.46
	2	4.34	4.24	4.15	4.38	4.08	4.11
	3	4.79	4.73	4.65	4.77	4.59	4.55
	4	4.56	4.45	4.41	4.52	4.48	4.53

(エ)児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.69	4.55	4.51	4.63	4.48	4.49
学年	1	4.51	4.33	4.19	4.49	4.12	4.11
	2	4.81	4.72	4.71	4.74	4.70	4.73
	3	4.74	4.59	4.59	4.66	4.61	4.60
	4	4.58	4.33	4.70	4.45	4.42	4.61

(オ) 国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.76	4.61	4.52	4.68	4.49	4.48
学年	1	4.76	4.58	4.46	4.65	4.43	4.45
	2	4.72	4.60	4.55	4.71	4.46	4.45
	3	4.78	4.65	4.58	4.66	4.56	4.49
	4	4.95	4.82	4.74	4.93	4.84	4.77

(カ) 音楽学科

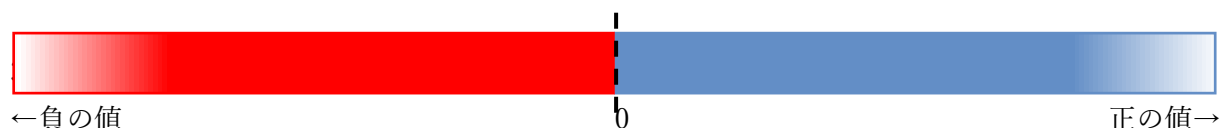
設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.84	4.62	4.57	4.80	4.63	4.59
学年	1	4.88	4.49	4.41	4.85	4.54	4.46
	2	4.85	4.79	4.76	4.74	4.71	4.79
	3	4.58	4.42	4.42	4.75	4.58	4.33
	4	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00

(キ) 看護学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.71	4.52	4.45	4.64	4.40	4.43
学年	1	4.76	4.51	4.43	4.66	4.36	4.41
	2	4.64	4.52	4.48	4.60	4.43	4.43
	3	4.66	4.70	4.64	4.66	4.62	4.57

2) 平均値の乖離状況

表は、評価傾向を把握しやすいよう、次のデータバーを用いて表示する。



データバーの表示にあたって設定した最小値・最大値は、次のとおりである。

「5段階評価の平均値」について、データの最小値は 4.08 のため、データバーの最小値を 4 としている。

「大学全体の平均値との乖離状況」について、データの絶対値を比較したとき最大値は 0.43 のため、データバーの最小値を -0.43、最大値を 0.43 としている。

これらの最小値・最大値については、前期・後期ともに共通である。

a) 大学全体の平均値と各学科の平均値

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
経済学部	経済学科	-0.06	-0.06	-0.05	-0.08	-0.05	-0.04
	経営学科	0.04	0.05	0.05	0.01	0.05	0.07
福祉社会学部	社会福祉学科	-0.07	-0.04	-0.08	-0.01	-0.06	-0.08
	児童学科	-0.02	-0.01	0	0	0.02	0
国際文化学部	国際文化学科	0.05	0.05	0.01	0.05	0.03	-0.01
	音楽学科	0.13	0.06	0.06	0.17	0.17	0.10
看護学部	看護学科	0	-0.04	-0.06	0.01	-0.06	-0.06

b) 各学科の平均値と学年別の平均値

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.05	0.07	0.05	0.06	0.07	0.05
	2	0.07	0.04	0.04	0.05	-0.03	0.04
	3	-0.20	-0.23	-0.16	-0.18	-0.17	-0.19
	4	-0.15	-0.14	-0.12	-0.17	-0.13	-0.06

(イ)経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.02	-0.06	-0.04	-0.06	-0.04	-0.06
	2	0.04	0.05	0.03	0.04	0.03	0.08
	3	0.02	0.04	0.06	0.06	0.06	0.04
	4	0.04	0.09	0.09	0.08	0.13	0

(ウ)社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.07	0.01	-0.01	0.06	0.02	0.05
	2	-0.30	-0.28	-0.28	-0.24	-0.32	-0.30
	3	0.15	0.21	0.22	0.15	0.19	0.14
	4	-0.08	-0.07	-0.02	-0.10	0.08	0.12

(エ)児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.18	-0.22	-0.32	-0.14	-0.36	-0.38
	2	0.12	0.17	0.20	0.11	0.22	0.24
	3	0.05	0.04	0.08	0.03	0.13	0.11
	4	-0.11	-0.22	0.19	-0.18	-0.06	0.12

(オ) 国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0	-0.03	-0.06	-0.03	-0.06	-0.03
	2	-0.04	-0.01	0.03	0.03	-0.03	-0.03
	3	0.02	0.04	0.06	-0.02	0.07	0.01
	4	0.19	0.21	0.22	0.25	0.35	0.29

(カ) 音楽学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.04	-0.13	-0.16	0.05	-0.09	-0.13
	2	0.01	0.17	0.19	-0.06	0.08	0.20
	3	-0.26	-0.20	-0.15	-0.05	-0.05	-0.26
	4	0.16	0.38	0.43	0.20	0.37	0.41

(キ) 看護学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.05	-0.01	-0.02	0.02	-0.04	-0.02
	2	-0.07	0	0.03	-0.04	0.03	0
	3	-0.05	0.18	0.19	0.02	0.22	0.14

①大学全体

- ・大学全体では、総合満足度の指標となる設問⑥【授業の推奨度】の平均値は 4.49 であり、学生は授業に概ね満足しているといえる。令和 6 年度後期からの経年でみると、令和 5 年度後期 4.51、令和 6 年度後期 4.43、令和 7 年度後期 4.49 という結果となっている。
- ・設問⑥以外の平均値も 4.46 以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ・大学全体の最も高い評価となっているのは、教員の授業に対する準備について評価する設問①【準備の周到さ】の 4.71 となっている。一方で、最も低い評価は学びに対する意欲をかきたてられたかを評価する設問⑤【学習意欲の喚起】の 4.46 となっている。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができている。

②経済学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別で比較すると、教員の説明の聞き取りやすさを評価する設問②【明瞭な話し方】の 4.50 と、受講しやすい環境を評価する設問④【環境の整備】の 4.55 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて 3 年生の評価が最も低くなっている。この傾向は、令和 6 年度後期と同様である。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができている。

③経営学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価といえる。特に、設問⑥【授業の推奨度】において大学全体の評価より 0.07 ポイント高くなっている。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて 1 年生の評価が最も低くなっている。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、経済学科と同様に授業満足度の底上げができている。

④社会福祉学科

- ・全てにおいて大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別で比較すると、教員の説明に対する学生の理解度を評価する設問③【説明の理解】の 4.43 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて 2 年生の評価が最も低くなっている。令和 6 年度後期では、全てにおいて 2 年生の評価が最も高く、全く逆の評価となっている。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができている。特に、設問⑥【授業の推奨度】は 0.21 ポイント上昇している。

⑤児童学科

- ・全てにおいて大学全体の評価との差は最大で 0.02 ポイントであり、大学全体の評価に最も近い。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて 2 年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和 6 年度後期と比較すると、全てにおいて評価が低くなっている。

⑥国際文化学科>

- ・設問⑥【授業の推奨度】を除き、大学全体の評価を上回り、概ね良好な評価といえる。
- ・学年別で比較すると、全てにおいて4年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和6年度後期と比較すると、全てにおいて評価が上昇しており、授業満足度の底上げができています。特に特に、設問⑤【学習意欲の喚起】は0.13ポイント上昇している。

⑦音楽学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価といえる。
- ・学科別で比較すると、全てにおいて全学科の最大値となっている。
- ・学年別で比較すると、全て4年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和6年度後期と比較すると、設問③【説明の理解】を除き、評価が上昇している。

⑧看護学科

- ・設問①【準備の周到さ】と設問④【環境の整備】を除き、大学全体の評価を下回っている。
- ・学年別で比較すると、設問①【準備の周到さ】と設問④【環境の整備】を除き、3年生の評価が最も高くなっている。
- ・令和6年度後期と比較すると、設問③【説明の理解】と設問⑤【学習意欲の喚起】を除き、評価が低くなっている。

V 授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）の集計及び分析

について

1 「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について

（1）集計・分析方法

- ① 「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対する回答を集計・分析している。
- ② 分析は在学生のみを対象としている。
- ③ 「専門科目」「共通教育科目」「その他の科目」ごとに分析している。また、「専門科目」については、カリキュラム情報上の科目担当学科に基づき学科ごとに分析している。
- ④ 空欄、「特になし」（表現が異なっても趣旨が同じ回答を含む）、及びカテゴリの判断が不可能な回答は対象外としている。2025 年度は在学生 20,378 件から空欄 12,107 件、「特になし」相当 302 件、分類不能・内容不足 13 件を除き、7,956 件を分析対象とした。
- ⑤ 分析にはグラウンデッド・セオリー・アプローチの考え方を用い、昨年度の分類枠組みを踏まえて、以下の⑥及び⑦のとおりカテゴリ・ラベル分けを行い、件数や割合を算出している。また、1 件の回答に対し最多で 3 件のラベルを付与しているため、回答数と件数合計には差が生じている。件数は各ラベルが付与された数、件数合計はラベルが付与された件数の合計としている。
- ⑥ カテゴリは以下の 6 つに分類している。
 - 教示…教員の資質や能力による要因
 - 教材…授業に用いた資料
 - 学習環境…授業を行う環境
 - 教授法…授業の進め方や内容
 - 評価…単位に関する基準や欠席時の対応
 - 意欲への影響…受講による意欲の変化
- ⑦ ラベルとは、回答の主な内容や論点を端的に表す名称である。同様の傾向のある回答に同一のラベルを付与することで、全体の傾向を把握しやすくしている。
- ⑧ 割合は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までとしている。そのため、合計値は必ずしも 100%になるとは限らない。また、割合の合計は四捨五入後の割合を足し合わせた値である。
- ⑨ 各カテゴリの上位ラベルは、件数の順位が 4 位以内のものを掲載している。同数は同順位とし、4 位に該当するラベルが複数ある場合はすべて掲載している。なお、詳細表の合計は、掲載されていないラベルを含むすべての件数と割合を示している。

(2) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較

専門科目のカテゴリごとの件数の割合を各学科で比較した。割合は、各学科の件数合計を分母として算出している。専門科目 4,972 回答に付与されたラベルの件数合計は 6,140 件であった。

表 1 専門科目におけるカテゴリ別割合の学科比較

学科	教示	教材	学習環境	教授法	評価	意欲への影響
経済学科	 27.1%	 35.9%	 5.6%	 24.6%	 3.6%	 3.1%
経営学科	 26.0%	 27.2%	 2.8%	 34.2%	 6.6%	 3.2%
社会福祉学科	 21.2%	 34.6%	 2.4%	 39.1%	 0.5%	 2.3%
児童学科	 24.2%	 15.6%	 4.0%	 49.1%	 1.8%	 5.2%
国際文化学科	 29.8%	 22.8%	 5.4%	 34.1%	 2.4%	 5.5%
音楽学科	 54.5%	 12.1%	 6.1%	 27.3%	 0.0%	 0.0%
看護学科	 16.2%	 18.2%	 1.5%	 53.1%	 2.2%	 8.8%

注：青色バーの長さは 0～100%の共通尺度で割合を示す。学科別の件数合計は、経済 1,924 件、経営 743 件、社会福祉 665 件、児童 1,584 件、国際文化 784 件、音楽 33 件、看護 407 件である。

(3) 各学科の専門科目の分析結果

①経済学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 1,507 件、件数合計は 1,924 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 2 経済学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量 3 授業を飽きさせない工夫 4 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 動画の活用 4 教材・資料の活用
学習環境	1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 3 快適な教室・機材環境の整備 4 規律に基づいた指導による学習環境の形成
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 小テストや確認テストの活用 3 レポート・課題・宿題の実施 4 テスト・試験による理解確認
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 明確な評価基準 3 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性 4 欠席時対応の柔軟性
意欲への影響	1 学習意欲の向上／興味・関心の促進 2 成長の実感・自己理解の促進 3 他者意見による視野の拡大 3 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（1,924 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	363	18.9%
2	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	57	3.0%
3	授業を飽きさせない工夫	41	2.1%
4	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	19	1.0%
合計		522	27.1%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	258	13.4%
2	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	121	6.3%
3	動画の活用	119	6.2%
4	教材・資料の活用	94	4.9%
合計		690	35.9%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	43	2.2%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	40	2.1%
3	快適な教室・機材環境の整備	13	0.7%
4	規律に基づいた指導による学習環境の形成	7	0.4%
合計		108	5.6%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	208	10.8%

順位	ラベル	件数	割合
2	小テストや確認テストの活用	68	3.5%
3	レポート・課題・宿題の実施	42	2.2%
4	テスト・試験による理解確認	34	1.8%
合計		474	24.6%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	36	1.9%
2	明確な評価基準	18	0.9%
3	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	9	0.5%
4	欠席時対応の柔軟性	7	0.4%
合計		70	3.6%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味・関心の促進	32	1.7%
2	成長の実感・自己理解の促進	14	0.7%
3	他者意見による視野の拡大	7	0.4%
3	職業意識・キャリア意識の向上	7	0.4%
合計		60	3.1%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教材」が690件（35.9%）で最も多く、「教示」522件（27.1%）、「教授法」474件（24.6%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「分かりやすい説明／詳しい説明」363件（18.9%）が最多で、「丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進」258件（13.4%）、「学習内容・授業方法の工夫」208件（10.8%）が上位を占めた。
- ・経済学科では、説明の分かりやすさ、資料の見やすさ・配布、動画の活用、小テスト等による理解確認が、授業の良かった点として多く挙げられている。

②経営学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 608 件、件数合計は 743 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 3 経営学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス 3 授業を飽きさせない工夫 4 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 教材・資料の活用 3 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 4 動画の活用
学習環境	1 発言・質問しやすい環境づくり 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 3 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 3 快適な教室・機材環境の整備
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 発表機会の設定 3 練習問題・演習課題による理解促進 3 レポート・課題・宿題の実施 3 小テストや確認テストの活用
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 明確な評価基準 3 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性 4 欠席時対応の柔軟性
意欲への影響	1 学習意欲の向上／興味・関心の促進 2 成長の実感・自己理解の促進 3 他者意見による視野の拡大 4 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（743 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	116	15.6%
2	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	27	3.6%
3	授業を飽きさせない工夫	17	2.3%
4	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	12	1.6%
合計		193	26.0%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	84	11.3%
2	教材・資料の活用	36	4.8%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	31	4.2%
4	動画の活用	18	2.4%
合計		202	27.2%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	発言・質問しやすい環境づくり	13	1.7%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	6	0.8%
3	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	1	0.1%
3	快適な教室・機材環境の整備	1	0.1%
合計		21	2.8%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	142	19.1%
2	発表機会の設定	19	2.6%
3	練習問題・演習課題による理解促進	14	1.9%
3	レポート・課題・宿題の実施	14	1.9%
3	小テストや確認テストの活用	14	1.9%
合計		254	34.2%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	25	3.4%
2	明確な評価基準	16	2.2%
3	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	7	0.9%
4	欠席時対応の柔軟性	1	0.1%
合計		49	6.6%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味・関心の促進	10	1.3%
2	成長の実感・自己理解の促進	9	1.2%
3	他者意見による視野の拡大	4	0.5%
4	職業意識・キャリア意識の向上	1	0.1%
合計		24	3.2%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 254 件（34.2%）で最も多く、「教材」202 件（27.2%）、「教示」193 件（26.0%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」142 件（19.1%）が最多で、「分かりやすい説明／詳しい説明」116 件（15.6%）、「丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進」84 件（11.3%）が上位を占めた。

・経営学科では、授業内容・方法の工夫、説明の分かりやすさ、資料による理解促進に加え、個別指導や発表機会の設定が授業の良かった点として挙げられている。

③社会福祉学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 531 件、件数合計は 665 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 4 社会福祉学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 授業を飽きさせない工夫 3 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意 4 教員の知識量や経験を活かした内容
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 教材・資料の活用 4 動画の活用
学習環境	1 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 2 発言・質問しやすい環境づくり 2 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 2 快適な教室・機材環境の整備
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 体験重視の実践的な学習 3 グループワーク・意見交換の活用 4 レポート・課題・宿題の実施
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 欠席時対応の柔軟性
意欲への影響	1 成長の実感・自己理解の促進 2 他者意見による視野の拡大 3 学習意欲の向上／興味・関心の促進

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（665 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	77	11.6%
2	授業を飽きさせない工夫	19	2.9%
3	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	17	2.6%
4	教員の知識量や経験を活かした内容	10	1.5%
合計		141	21.2%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	87	13.1%
2	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	54	8.1%
3	教材・資料の活用	42	6.3%
4	動画の活用	26	3.9%
合計		230	34.6%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	13	2.0%
2	発言・質問しやすい環境づくり	1	0.2%
2	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	1	0.2%
2	快適な教室・機材環境の整備	1	0.2%
合計		16	2.4%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	98	14.7%
2	体験重視の実践的な学習	31	4.7%
3	グループワーク・意見交換の活用	30	4.5%
4	レポート・課題・宿題の実施	29	4.4%
合計		260	39.1%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	2	0.3%
2	欠席時対応の柔軟性	1	0.2%
合計		3	0.5%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	成長の実感・自己理解の促進	6	0.9%
2	他者意見による視野の拡大	5	0.8%
3	学習意欲の向上／興味・関心の促進	4	0.6%
合計		15	2.3%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が260件（39.1%）で最も多く、「教材」230件（34.6%）、「教示」141件（21.2%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」98件（14.7%）が最多で、「丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進」87件（13.1%）、「分かりやすい説明／詳しい説明」77件（11.6%）が上位を占めた。
- ・社会福祉学科では、授業内容・方法の工夫、資料と説明の分かりやすさに加え、資料配布や体験的・協働的な学習が授業の良かった点として多く挙げられている。

④児童学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 1,317 件、件数合計は 1,584 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 5 児童学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 授業を飽きさせない工夫 3 教員の働きかけ 4 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 動画の活用 3 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 4 教材・資料の活用
学習環境	1 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 2 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 3 発言・質問しやすい環境づくり 4 快適な教室・機材環境の整備
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 体験重視の実践的な学習 3 グループワーク・意見交換の活用 4 専門的学習／実践現場に結びつく学習
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性 3 課題量・期限・評価物への配慮 4 明確な評価基準
意欲への影響	1 成長の実感・自己理解の促進 2 学習意欲の向上／興味・関心の促進 3 他者意見による視野の拡大 4 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（1,584 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	164	10.4%
2	授業を飽きさせない工夫	83	5.2%
3	教員の働きかけ	62	3.9%
4	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	23	1.5%
合計		384	24.2%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	65	4.1%
2	動画の活用	63	4.0%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	43	2.7%
4	教材・資料の活用	41	2.6%
合計		247	15.6%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	32	2.0%
2	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	20	1.3%
3	発言・質問しやすい環境づくり	7	0.4%
4	快適な教室・機材環境の整備	3	0.2%
合計		63	4.0%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	353	22.3%
2	体験重視の実践的な学習	202	12.8%
3	グループワーク・意見交換の活用	79	5.0%
4	専門的学習／実践現場に結びつく学習	33	2.1%
合計		778	49.1%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	13	0.8%
2	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	7	0.4%
3	課題量・期限・評価物への配慮	4	0.3%
4	明確な評価基準	3	0.2%
合計		29	1.8%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	成長の実感・自己理解の促進	43	2.7%
2	学習意欲の向上／興味・関心の促進	17	1.1%
3	他者意見による視野の拡大	13	0.8%
4	職業意識・キャリア意識の向上	10	0.6%
合計		83	5.2%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 778 件（49.1%）で最も多く、「教示」384 件（24.2%）、「教材」247 件（15.6%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」353 件（22.3%）が最多で、「体験重視の実践的な学習」202 件（12.8%）、「分かりやすい説明／詳しい説明」164 件（10.4%）が上位を占めた。

- ・児童学科では、授業内容・方法の工夫と体験重視の実践的な学習が特に多く、説明の分かりやすさ、授業を飽きさせない工夫、グループワークも肯定的に捉えられている。

⑤国際文化学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 664 件、件数合計は 784 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 6 国際文化学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 授業を飽きさせない工夫 3 教員の働きかけ 4 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 動画の活用 4 教材・資料の活用
学習環境	1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 3 快適な教室・機材環境の整備 4 発言・質問しやすい環境づくり
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 レポート・課題・宿題の実施 3 体験重視の実践的な学習 4 意見・質問へのコメント返却
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性 3 欠席時対応の柔軟性 3 明確な評価基準 3 課題量・期限・評価物への配慮
意欲への影響	1 学習意欲の向上／興味・関心の促進 2 成長の実感・自己理解の促進 3 他者意見による視野の拡大 4 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（784 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	126	16.1%
2	授業を飽きさせない工夫	43	5.5%
3	教員の働きかけ	19	2.4%
4	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	17	2.2%
合計		234	29.8%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	50	6.4%
2	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	49	6.3%
3	動画の活用	35	4.5%
4	教材・資料の活用	28	3.6%
合計		179	22.8%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	21	2.7%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	13	1.7%
3	快適な教室・機材環境の整備	5	0.6%
4	発言・質問しやすい環境づくり	3	0.4%
合計		42	5.4%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	176	22.4%
2	レポート・課題・宿題の実施	24	3.1%
3	体験重視の実践的な学習	13	1.7%
4	意見・質問へのコメント返却	9	1.1%
合計		267	34.1%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	13	1.7%
2	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	3	0.4%
3	欠席時対応の柔軟性	1	0.1%
3	明確な評価基準	1	0.1%
3	課題量・期限・評価物への配慮	1	0.1%
合計		19	2.4%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味・関心の促進	22	2.8%
2	成長の実感・自己理解の促進	12	1.5%
3	他者意見による視野の拡大	8	1.0%
4	職業意識・キャリア意識の向上	1	0.1%
合計		43	5.5%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が267件（34.1%）で最も多く、「教示」234件（29.8%）、「教材」179件（22.8%）が続いた。

- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」176 件（22.4%）が最多で、「分かりやすい説明／詳しい説明」126 件（16.1%）、「丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進」50 件（6.4%）が上位を占めた。
- ・国際文化学科では、授業内容・方法の工夫と説明の分かりやすさが中心で、資料の分かりやすさ・配布、授業を飽きさせない工夫、動画の活用も多く挙げられている。

⑥音楽学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 32 件、件数合計は 33 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 7 音楽学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 教員の働きかけ 3 授業を飽きさせない工夫
教材	1 動画の活用
学習環境	1 快適な教室・機材環境の整備
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 体験重視の実践的な学習
評価	該当なし
意欲への影響	該当なし

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（33 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	14	42.4%
2	教員の働きかけ	3	9.1%
3	授業を飽きさせない工夫	1	3.0%
合計		18	54.5%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	動画の活用	4	12.1%
合計		4	12.1%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	快適な教室・機材環境の整備	2	6.1%
合計		2	6.1%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	7	21.2%
2	体験重視の実践的な学習	2	6.1%
合計		9	27.3%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
	合計	0	0.0%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
	合計	0	0.0%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教示」が18件（54.5%）で最も多く、「教授法」9件（27.3%）、「教材」4件（12.1%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「分かりやすい説明／詳しい説明」14件（42.4%）が最多で、「学習内容・授業方法の工夫」7件（21.2%）、「動画の活用」4件（12.1%）が上位を占めた。
- ・音楽学科では、説明の分かりやすさが最も多く、授業内容・方法の工夫、動画の活用が続いた。なお、回答数が32件と限られるため、割合の解釈には留意が必要である。

⑦看護学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 313 件、件数合計は 407 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 8 看護学科におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス 2 授業を飽きさせない工夫 4 教員の働きかけ 4 教員の知識量や経験を活かした内容
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例 3 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 動画の活用
学習環境	1 発言・質問しやすい環境づくり 1 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 グループワーク・意見交換の活用 3 専門的学習／実践現場に結びつく学習 4 練習問題・演習課題による理解促進
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 課題量・期限・評価物への配慮 2 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性
意欲への影響	1 他者意見による視野の拡大 2 学習意欲の向上／興味・関心の促進 3 職業意識・キャリア意識の向上 4 成長の実感・自己理解の促進

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（407 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	51	12.5%
2	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	4	1.0%
2	授業を飽きさせない工夫	4	1.0%
4	教員の働きかけ	3	0.7%
4	教員の知識量や経験を活かした内容	3	0.7%
合計		66	16.2%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	37	9.1%
2	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	11	2.7%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	8	2.0%
3	動画の活用	8	2.0%
合計		74	18.2%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	発言・質問しやすい環境づくり	3	0.7%
1	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	3	0.7%
合計		6	1.5%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	73	17.9%

順位	ラベル	件数	割合
2	グループワーク・意見交換の活用	38	9.3%
3	専門的学習／実践現場に結びつく学習	23	5.7%
4	練習問題・演習課題による理解促進	20	4.9%
合計		216	53.1%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	7	1.7%
2	課題量・期限・評価物への配慮	1	0.2%
2	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	1	0.2%
合計		9	2.2%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	他者意見による視野の拡大	14	3.4%
2	学習意欲の向上／興味・関心の促進	9	2.2%
3	職業意識・キャリア意識の向上	8	2.0%
4	成長の実感・自己理解の促進	5	1.2%
合計		36	8.8%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が216件（53.1%）で最も多く、「教材」74件（18.2%）、「教示」66件（16.2%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」73件（17.9%）が最多で、「分かりやすい説明／詳しい説明」51件（12.5%）、「グループワーク・意見交換の活用」38件（9.3%）が上位を占めた。
- ・看護学科では、授業内容・方法の工夫に加え、説明や資料の分かりやすさ、グループワーク、実践現場に結びつく専門的学習が授業の良かった点として多く挙げられている。

(4) 共通教育科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 2,715 件、件数合計は 3,207 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 9 共通教育科目におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 授業を飽きさせない工夫 3 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス 4 教員の働きかけ
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 動画の活用 3 教材・資料の活用
学習環境	1 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 2 発言・質問しやすい環境づくり 3 快適な教室・機材環境の整備 4 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 レポート・課題・宿題の実施 3 グループワーク・意見交換の活用 4 テスト・試験による理解確認
評価	1 評価・試験方法への配慮 2 明確な評価基準 3 欠席時対応の柔軟性 3 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性
意欲への影響	1 学習意欲の向上／興味・関心の促進 2 成長の実感・自己理解の促進 3 他者意見による視野の拡大 4 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（3,207 件）を分母として算出している。

① 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	453	14.1%
2	授業を飽きさせない工夫	134	4.2%
3	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	81	2.5%
4	教員の働きかけ	78	2.4%
合計		879	27.4%

② 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	203	6.3%
2	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	120	3.7%
3	動画の活用	103	3.2%
3	教材・資料の活用	103	3.2%
合計		629	19.6%

③ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	48	1.5%
2	発言・質問しやすい環境づくり	30	0.9%
3	快適な教室・機材環境の整備	19	0.6%
4	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	14	0.4%
合計		119	3.7%

④ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	798	24.9%
2	レポート・課題・宿題の実施	88	2.7%
3	グループワーク・意見交換の活用	81	2.5%
4	テスト・試験による理解確認	59	1.8%
合計		1,342	41.8%

⑤ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	58	1.8%
2	明確な評価基準	11	0.3%
3	欠席時対応の柔軟性	7	0.2%
3	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	7	0.2%
合計		88	2.7%

⑥ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味・関心の促進	58	1.8%
2	成長の実感・自己理解の促進	46	1.4%
3	他者意見による視野の拡大	33	1.0%
4	職業意識・キャリア意識の向上	13	0.4%
合計		150	4.7%

⑦ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 1,342 件（41.8%）で最も多く、「教示」879 件（27.4%）、「教材」629 件（19.6%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」798 件（24.9%）が最多で、「分かりやすい説明／詳しい説明」453 件（14.1%）、「丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進」203 件（6.3%）が上位を占めた。

- ・ 共通教育科目では、授業内容・方法の工夫と説明の分かりやすさが中心で、資料の分かりやすさ、授業を飽きさせない工夫、資料配布や動画の活用も多く挙げられている。

(5) その他の科目の分析結果

「その他の科目」とは、教職課程、図書館司書等の免許・資格関連科目に区分される科目を指す。

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 269 件、件数合計は 346 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 10 その他の科目におけるカテゴリ別の上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 分かりやすい説明／詳しい説明 2 授業を飽きさせない工夫 3 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意 4 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量 4 教員の知識量や経験を活かした内容
教材	1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進 2 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布 3 動画の活用 4 資料の事前公開・準備／万全な事前準備 4 教材・資料の活用
学習環境	1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気 3 発言・質問しやすい環境づくり
教授法	1 学習内容・授業方法の工夫 2 グループワーク・意見交換の活用 3 体験重視の実践的な学習 4 練習問題・演習課題による理解促進
評価	1 評価・試験方法への配慮 1 欠席時対応の柔軟性 3 テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性
意欲への影響	1 学習意欲の向上／興味・関心の促進 1 成長の実感・自己理解の促進 3 他者意見による視野の拡大 4 職業意識・キャリア意識の向上

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（346 件）を分母として算出している。

① 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	28	8.1%
2	授業を飽きさせない工夫	22	6.4%
3	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	8	2.3%
4	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	7	2.0%
4	教員の知識量や経験を活かした内容	7	2.0%
合計		80	23.1%

② 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	17	4.9%
2	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	13	3.8%
3	動画の活用	8	2.3%
4	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	4	1.2%
4	教材・資料の活用	4	1.2%
合計		49	14.2%

③ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	22	6.4%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	5	1.4%
3	発言・質問しやすい環境づくり	3	0.9%
合計		30	8.7%

④ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容・授業方法の工夫	59	17.1%
2	グループワーク・意見交換の活用	29	8.4%
3	体験重視の実践的な学習	26	7.5%
4	練習問題・演習課題による理解促進	13	3.8%
合計		160	46.2%

⑤ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への配慮	3	0.9%
1	欠席時対応の柔軟性	3	0.9%
3	テスト時の持ち込み・受験方法の柔軟性	1	0.3%
合計		7	2.0%

⑥ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味・関心の促進	7	2.0%
1	成長の実感・自己理解の促進	7	2.0%
3	他者意見による視野の拡大	5	1.4%
4	職業意識・キャリア意識の向上	1	0.3%
合計		20	5.8%

⑦ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が160件（46.2%）で最も多く、「教示」80件（23.1%）、「教材」49件（14.2%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「学習内容・授業方法の工夫」59件（17.1%）が最多で、「グループワーク・意見交換の活用」29件（8.4%）、「分かりやすい説明／詳しい説明」28件（8.1%）が上位を占めた。

- ・その他の科目では、授業内容・方法の工夫、グループワーク、説明の分かりやすさ、体験重視の実践的な学習が多く、オンライン授業・課題提出・資料配布の ICT 活用も挙げられている。

2 「この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について

(1) 集計・分析方法

- ① 前期・後期の回答を合算し、集計・分析している。
- ② 分析は在学生のみを対象としている。
- ③ 「専門科目」「共通教育科目」「その他の科目」ごとに分析している。また、「専門科目」については、カリキュラム情報上の科目担当学科に基づき学科ごとに分析している。
- ④ 空欄、「特になし」（表現が異なっても趣旨が同じ回答を含む）、及びカテゴリの判断が不可能な回答は対象外としている。2025 年度前期・後期の在学生 20,378 件から空欄 14,694 件、「特になし」相当及び分類不能・内容不足 3,262 件を除き、2,422 件（前期 1,606 件、後期 816 件）を分析対象とした。件数合計は 2,935 件（前期 1,981 件、後期 954 件）である。
- ⑤ 分析にはグラウンデッド・セオリー・アプローチの考え方を用い、昨年度の分類枠組みを踏まえて、以下の⑥及び⑦のとおりカテゴリ・ラベル分けを行い、件数や割合を算出している。また、1 件の回答に対し最多で 3 件のラベルを付与しているため、回答数と件数合計には差が生じている。件数は各ラベルが付与された数、件数合計はラベルが付与された件数の合計としている。
- ⑥ カテゴリは以下の 6 つに分類している。
 - 教示…教員の資質や能力による要因
 - 教材…授業に用いた資料
 - 学習環境…授業を行う環境
 - 教授法…授業の進め方や内容
 - 評価…単位に関する基準や欠席時の対応
 - 意欲への影響…受講による意欲の変化
- ⑦ ラベルとは、回答の主な内容や論点を端的に表す名称である。同様の傾向のある回答に同一のラベルを付与することで、全体の傾向を把握しやすくしている。
- ⑧ 割合は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までとしている。そのため、合計値は必ずしも 100% になるとは限らない。また、割合の合計は四捨五入後の割合を足し合わせた値である。
- ⑨ 各カテゴリの上位ラベルは、件数の順位が 4 位以内のものを掲載している。同数は同順位とし、4 位に該当するラベルが複数ある場合はすべて掲載している。なお、詳細表の合計は、掲載されていないラベルを含むすべての件数と割合を示している。

(2) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較

前期・後期を合算し、専門科目のカテゴリごとの件数の割合を各学科で比較した。割合は、各学科の件数合計を分母として算出している。専門科目 1,469 回答に付与されたラベルの件数合計は 1,786 件であった。

表 11 専門科目における改善要望のカテゴリ別割合の学科比較

学科	教示	教材	学習環境	教授法	評価	意欲への影響
経済学科	25.6%	23.4%	15.6%	24.7%	9.2%	1.5%
経営学科	26.9%	15.4%	11.0%	31.3%	15.4%	0.0%
社会福祉学科	23.2%	27.5%	10.6%	26.1%	12.0%	0.7%
児童学科	25.9%	15.6%	7.1%	41.2%	8.8%	1.5%
国際文化学科	28.5%	19.0%	10.0%	33.0%	7.7%	1.8%
音楽学科	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%
看護学科	24.6%	23.4%	3.5%	34.5%	11.7%	2.3%

注：赤色バーの長さは 0～100%の共通尺度で割合を示す。学科別の件数合計は、経済 653 件、経営 182 件、社会福祉 142 件、児童 410 件、国際文化 221 件、音楽 7 件、看護 171 件である。

(3) 各学科の専門科目の分析結果

①経済学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 524 件、件数合計は 653 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 12 経済学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 教員の声の特徴による学習への影響 2 説明の不明瞭さ・情報不足 3 授業の飽きさせない工夫の不足 3 授業進行ペース・配分の不適切さ 3 開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更
教材	1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 2 教材の構成・記載内容の不備 3 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 4 書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足
学習環境	1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 2 教室の温度・照明の不適切さ 3 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 4 教室の広さ・視認性の不適合
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 3 授業内容の難解さ・専門性の高さ 4 要点の整理・内省の機会不足 4 発表機会・発表方法への不満
評価	1 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 2 成績評価への不満 3 評価・試験方法への改善要望 4 欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足
意欲への影響	1 学習集中の妨げによる意欲低下 2 学習成果への不信・不安感

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（653 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	74	11.3%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	33	5.1%
3	授業の飽きさせない工夫の不足	15	2.3%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	15	2.3%
3	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	15	2.3%
合計		167	25.6%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	42	6.4%
2	教材の構成・記載内容の不備	39	6.0%
3	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	38	5.8%
4	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	9	1.4%
合計		153	23.4%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	32	4.9%
2	教室の温度・照明の不適切さ	24	3.7%
3	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	11	1.7%
4	教室の広さ・視認性の不適合	8	1.2%
合計		102	15.6%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	64	9.8%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	39	6.0%
3	授業内容の難解さ・専門性の高さ	11	1.7%
4	要点の整理・内省の機会不足	10	1.5%
4	発表機会・発表方法への不満	10	1.5%
合計		161	24.7%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	14	2.1%
2	成績評価への不満	12	1.8%
3	評価・試験方法への改善要望	10	1.5%
4	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	8	1.2%
合計		60	9.2%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	9	1.4%
2	学習成果への不信・不安感	1	0.2%
合計		10	1.5%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教示」が167件（25.6%）で最も多く、「教授法」161件（24.7%）、「教材」153件（23.4%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「教員の声の特徴による学習への影響」74件（11.3%）が最多で、「授業方法・内容の改善要望」64件（9.8%）、「資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭」42件（6.4%）が上位を占めた。

- ・経済学科では、教員の声の聞き取りやすさ、授業内容・方法、資料の配布・内容、理解を定着させる工夫に関する改善要望が目立った。

②経営学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 154 件、件数合計は 182 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 13 経営学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 教員の声の特徴による学習への影響 2 説明の不明瞭さ・情報不足 3 授業進行ペース・配分の不適切さ 4 説明スピードの速さによる理解困難
教材	1 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 2 教材の構成・記載内容の不備 2 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 4 映像教材の内容・提示方法への不満 4 教科書活用の不足 4 書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足
学習環境	1 教室の温度・照明の不適切さ 2 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 3 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 3 教室の狭さ・人数不適合
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 3 授業内容の難解さ・専門性の高さ 4 発表機会・発表方法への不満
評価	1 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 2 テストの難易度・出題範囲の不適切さ 3 成績評価への不満 4 欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足
意欲への影響	該当なし

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（182 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	14	7.7%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	13	7.1%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	10	5.5%
4	説明スピードの速さによる理解困難	6	3.3%
合計		49	26.9%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	11	6.0%
2	教材の構成・記載内容の不備	7	3.8%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	7	3.8%
4	映像教材の内容・提示方法への不満	1	0.5%
4	教科書活用の不足	1	0.5%
4	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	1	0.5%
合計		28	15.4%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	教室の温度・照明の不適切さ	9	4.9%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	3	1.6%
3	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	2	1.1%
3	教室の狭さ・人数不適合	2	1.1%

順位	ラベル	件数	割合
	合計	20	11.0%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	23	12.6%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	10	5.5%
3	授業内容の難解さ・専門性の高さ	5	2.7%
4	発表機会・発表方法への不満	4	2.2%
	合計	57	31.3%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	7	3.8%
2	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	6	3.3%
3	成績評価への不満	5	2.7%
4	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	4	2.2%
	合計	28	15.4%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
	合計	0	0.0%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 57 件（31.3%）で最も多く、「教示」49 件（26.9%）、「教材」28 件（15.4%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「授業方法・内容の改善要望」23 件（12.6%）が最多で、「教員の声の特徴による学習への影響」14 件（7.7%）、「説明の不明瞭さ・情報不足」13 件（7.1%）が上位を占めた。

- ・経営学科では、授業内容・方法、説明や声の聞き取りやすさ、スライド・板書の見やすさ、授業進行の速さに関する改善要望が多かった。

③社会福祉学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 119 件、件数合計は 142 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 14 社会福祉学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 授業の飽きさせない工夫の不足 3 教員の声の特徴による学習への影響 4 授業進行ペース・配分の不適切さ
教材	1 教材の構成・記載内容の不備 1 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 3 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 4 教科書活用の不足
学習環境	1 教室の温度・照明の不適切さ 2 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 3 出席確認環境・打刻運用の改善要望
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 グループワーク・意見交換の不足 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 4 授業内容の難解さ・専門性の高さ 4 一方向的な授業進行
評価	1 評価・試験方法への改善要望 2 出席確認方法の不備 3 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 3 テストの難易度・出題範囲の不適切さ
意欲への影響	1 学習集中の妨げによる意欲低下

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（142 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	12	8.5%
2	授業の飽きさせない工夫の不足	5	3.5%
3	教員の声の特徴による学習への影響	4	2.8%
4	授業進行ペース・配分の不適切さ	3	2.1%
合計		33	23.2%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	教材の構成・記載内容の不備	11	7.7%
1	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	11	7.7%
3	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	7	4.9%
4	教科書活用の不足	4	2.8%
合計		39	27.5%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	教室の温度・照明の不適切さ	10	7.0%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	4	2.8%
3	出席確認環境・打刻運用の改善要望	1	0.7%
合計		15	10.6%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	9	6.3%
2	グループワーク・意見交換の不足	6	4.2%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	6	4.2%
4	授業内容の難解さ・専門性の高さ	3	2.1%
4	一方向的な授業進行	3	2.1%
合計		37	26.1%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への改善要望	5	3.5%
2	出席確認方法の不備	4	2.8%
3	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	3	2.1%
3	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	3	2.1%
合計		17	12.0%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	1	0.7%
合計		1	0.7%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教材」が 39 件（27.5%）で最も多く、「教授法」37 件（26.1%）、「教示」33 件（23.2%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「説明の不明瞭さ・情報不足」12 件（8.5%）が最多で、「教材の構成・記載内容の不備」11 件（7.7%）、「見づらいスライド（パワーポイント）・板書」11 件（7.7%）が上位を占めた。

- ・社会福祉学科では、説明の明瞭さ、教材の構成、スライド・板書の見やすさ、教室の温度など、理解と受講環境の双方に関する改善要望が挙げられた。

④児童学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 352 件、件数合計は 410 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 15 児童学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 教員の声の特徴による学習への影響 3 授業進行ペース・配分の不適切さ 4 授業の飽きさせない工夫の不足 4 説明スピードの速さによる理解困難
教材	1 教材の構成・記載内容の不備 1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 3 書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足 4 資料の分量過多
学習環境	1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 2 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 3 教室の温度・照明の不適切さ 4 座席配置の不適切さ 4 学習環境の改善要望
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 2 授業内容の難解さ・専門性の高さ 4 実践的学習活動の不足 4 グループワーク・意見交換の不足 4 一方向的な授業進行
評価	1 評価・試験方法への改善要望 2 テストの難易度・出題範囲の不適切さ 3 出席確認方法の不備 4 評価基準の不明確さ

カテゴリ	上位ラベル
意欲への影響	1 学習集中の妨げによる意欲低下 2 教員からの対応による心理的萎縮 2 学習成果への不信・不安感

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（410 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	37	9.0%
2	教員の声の特徴による学習への影響	21	5.1%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	13	3.2%
4	授業の飽きさせない工夫の不足	8	2.0%
4	説明スピードの速さによる理解困難	8	2.0%
合計		106	25.9%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	教材の構成・記載内容の不備	24	5.9%
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	24	5.9%
3	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	4	1.0%
4	資料の分量過多	3	0.7%
合計		64	15.6%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	13	3.2%
2	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	6	1.5%
3	教室の温度・照明の不適切さ	4	1.0%
4	座席配置の不適切さ	2	0.5%
4	学習環境の改善要望	2	0.5%

順位	ラベル	件数	割合
	合計	29	7.1%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	91	22.2%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	12	2.9%
2	授業内容の難解さ・専門性の高さ	12	2.9%
4	実践的学習活動の不足	10	2.4%
4	グループワーク・意見交換の不足	10	2.4%
4	一方向的な授業進行	10	2.4%
	合計	169	41.2%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	評価・試験方法への改善要望	13	3.2%
2	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	10	2.4%
3	出席確認方法の不備	4	1.0%
4	評価基準の不明確さ	3	0.7%
	合計	36	8.8%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	4	1.0%
2	教員からの対応による心理的萎縮	1	0.2%
2	学習成果への不信・不安感	1	0.2%
	合計	6	1.5%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 169 件（41.2%）で最も多く、「教示」106 件（25.9%）、「教材」64 件（15.6%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「授業方法・内容の改善要望」91 件（22.2%）が最多で、「説明の不明瞭さ・情報不足」37 件（9.0%）、「教材の構成・記載内容の不備」24 件（5.9%）が上位を占めた。
- ・児童学科では、授業内容・方法と説明の分かりやすさを中心に、教材の構成・配布、声の聞き取りやすさに関する改善要望が多かった。

⑤国際文化学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 178 件、件数合計は 221 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 16 国際文化学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 教員の声の特徴による学習への影響 3 説明スピードの速さによる理解困難 4 授業進行ペース・配分の不適切さ
教材	1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 2 教材の構成・記載内容の不備 3 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 4 教科書購入・使用への不満 4 教科書活用の不足 4 重要箇所の明示不足 4 映像教材の内容・提示方法への不満 4 配布資料の配布時期・タイミングの不満
学習環境	1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 2 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 2 学習環境の改善要望 4 教室の温度・照明の不適切さ
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 授業内容の難解さ・専門性の高さ 3 学習内容の定着を促す工夫の不足 4 発表機会・発表方法への不満
評価	1 出席確認方法の不備 1 欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足 3 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 3 テストの難易度・出題範囲の不適切さ

カテゴリ	上位ラベル
意欲への影響	1 学習集中の妨げによる意欲低下 2 学習成果への不信・不安感 2 教員からの対応による心理的萎縮

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（221 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	24	10.9%
2	教員の声の特徴による学習への影響	11	5.0%
3	説明スピードの速さによる理解困難	7	3.2%
4	授業進行ペース・配分の不適切さ	5	2.3%
合計		63	28.5%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	18	8.1%
2	教材の構成・記載内容の不備	12	5.4%
3	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	7	3.2%
4	教科書購入・使用への不満	1	0.5%
4	教科書活用の不足	1	0.5%
4	重要箇所の明示不足	1	0.5%
4	映像教材の内容・提示方法への不満	1	0.5%
4	配布資料の配布時期・タイミングの不満	1	0.5%
合計		42	19.0%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	9	4.1%
2	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	4	1.8%

順位	ラベル	件数	割合
2	学習環境の改善要望	4	1.8%
4	教室の温度・照明の不適切さ	2	0.9%
合計		22	10.0%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	31	14.0%
2	授業内容の難解さ・専門性の高さ	15	6.8%
3	学習内容の定着を促す工夫の不足	6	2.7%
4	発表機会・発表方法への不満	4	1.8%
合計		73	33.0%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	出席確認方法の不備	4	1.8%
1	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	4	1.8%
3	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	3	1.4%
3	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	3	1.4%
合計		17	7.7%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	2	0.9%
2	学習成果への不信・不安感	1	0.5%
2	教員からの対応による心理的萎縮	1	0.5%
合計		4	1.8%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が73件（33.0%）で最も多く、「教示」63件（28.5%）、「教材」42件（19.0%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「授業方法・内容の改善要望」31件（14.0%）が最多で、「説明の不明瞭さ・情報不足」24件（10.9%）、「資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭」18件（8.1%）が上位を占めた。
- ・国際文化学科では、授業内容・方法、説明の分かりやすさ、資料の配布・内容に加え、内容の難しさへの対応を求める意見が多かった。

⑥音楽学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は5件、件数合計は7件となった。カテゴリごとに4位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 17 音楽学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 教員の声の特徴による学習への影響
教材	1 教材の構成・記載内容の不備
学習環境	1 教室の温度・照明の不適切さ 1 学習環境の改善要望 1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ
教授法	1 発表機会・発表方法への不満
評価	1 成績評価への不満
意欲への影響	該当なし

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（7 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	1	14.3%
合計		1	14.3%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	教材の構成・記載内容の不備	1	14.3%
合計		1	14.3%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	教室の温度・照明の不適切さ	1	14.3%
1	学習環境の改善要望	1	14.3%
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	1	14.3%
合計		3	42.9%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	発表機会・発表方法への不満	1	14.3%
合計		1	14.3%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	成績評価への不満	1	14.3%
合計		1	14.3%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
	合計	0	0.0%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「学習環境」が3件（42.9%）で最も多く、「教示」1件（14.3%）、「教材」1件（14.3%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「教材の構成・記載内容の不備」1件（14.3%）が最多で、「教室の温度・照明の不適切さ」1件（14.3%）、「学習環境の改善要望」1件（14.3%）が上位を占めた。
- ・音楽学科では、教材、学習環境、授業方法、教示、評価に意見が分散した。回答数が5件と少ないため、割合の解釈には留意が必要である。

⑦看護学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 137 件、件数合計は 171 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 18 看護学科における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 教員の声の特徴による学習への影響 3 授業の飽きさせない工夫の不足 3 教員間・単一教員内のルール不統一／教員間の連携不足 3 授業進行ペース・配分の不適切さ
教材	1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 2 教材の構成・記載内容の不備 3 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 4 映像教材の活用希望 4 重要箇所の明示不足
学習環境	1 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 2 教室の温度・照明の不適切さ 2 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 2 不適切な音量設定・音響環境
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 課題の量・難しさ・見やすさへの不満 3 グループワーク・意見交換の不足 4 一方向的な授業進行 4 授業内容の難解さ・専門性の高さ
評価	1 テストの難易度・出題範囲の不適切さ 2 評価・試験方法への改善要望 3 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 3 成績評価への不満
意欲への影響	1 学習成果への不信・不安感 2 教員からの対応による心理的萎縮 2 学習集中の妨げによる意欲低下

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（171 件）を分母として算出している。

ア 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	12	7.0%
2	教員の声の特徴による学習への影響	8	4.7%
3	授業の飽きさせない工夫の不足	5	2.9%
3	教員間・単一教員内のルール不統一／教員間の連携不足	5	2.9%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	5	2.9%
合計		42	24.6%

イ 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	17	9.9%
2	教材の構成・記載内容の不備	11	6.4%
3	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	7	4.1%
4	映像教材の活用希望	2	1.2%
4	重要箇所の明示不足	2	1.2%
合計		40	23.4%

ウ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	3	1.8%
2	教室の温度・照明の不適切さ	1	0.6%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	1	0.6%
2	不適切な音量設定・音響環境	1	0.6%

順位	ラベル	件数	割合
	合計	6	3.5%

エ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	18	10.5%
2	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	13	7.6%
3	グループワーク・意見交換の不足	7	4.1%
4	一方向的な授業進行	4	2.3%
4	授業内容の難解さ・専門性の高さ	4	2.3%
	合計	59	34.5%

オ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	11	6.4%
2	評価・試験方法への改善要望	4	2.3%
3	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	2	1.2%
3	成績評価への不満	2	1.2%
	合計	20	11.7%

カ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習成果への不信・不安感	2	1.2%
2	教員からの対応による心理的萎縮	1	0.6%
2	学習集中の妨げによる意欲低下	1	0.6%
	合計	4	2.3%

キ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 59 件（34.5%）で最も多く、「教示」42 件（24.6%）、「教材」40 件（23.4%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「授業方法・内容の改善要望」18 件（10.5%）が最多で、「資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭」17 件（9.9%）、「課題の量・難しさ・見やすさへの不満」13 件（7.6%）が上位を占めた。
- ・看護学科では、授業内容・方法、資料の配布・内容、課題量、説明の分かりやすさに関する改善要望が多かった。

(4) 共通教育科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 868 件、件数合計は 1,031 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 19 共通教育科目における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 教員の声の特徴による学習への影響 3 説明スピードの速さによる理解困難 4 授業進行ペース・配分の不適切さ
教材	1 教材の構成・記載内容の不備 2 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 3 見づらいスライド（パワーポイント）・板書 4 教科書購入・使用への不満
学習環境	1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 2 教室の温度・照明の不適切さ 3 不適切な音量設定・音響環境 4 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 3 グループワーク・意見交換の不足 3 授業内容の難解さ・専門性の高さ
評価	1 欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足 2 評価・試験方法への改善要望 3 出席確認方法の不備 4 テストの難易度・出題範囲の不適切さ
意欲への影響	1 学習集中の妨げによる意欲低下 2 学習成果への不信・不安感 3 教員からの対応による心理的萎縮

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（1,031 件）を分母として算出している。

① 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	88	8.5%
2	教員の声の特徴による学習への影響	80	7.8%
3	説明スピードの速さによる理解困難	37	3.6%
4	授業進行ペース・配分の不適切さ	34	3.3%
合計		299	29.0%

② 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	教材の構成・記載内容の不備	53	5.1%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	44	4.3%
3	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	28	2.7%
4	教科書購入・使用への不満	8	0.8%
合計		154	14.9%

③ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	48	4.7%
2	教室の温度・照明の不適切さ	46	4.5%
3	不適切な音量設定・音響環境	16	1.6%
4	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	13	1.3%
合計		156	15.1%

④ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	132	12.8%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	37	3.6%
3	グループワーク・意見交換の不足	25	2.4%
3	授業内容の難解さ・専門性の高さ	25	2.4%
合計		324	31.4%

⑤ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	20	1.9%
2	評価・試験方法への改善要望	19	1.8%
3	出席確認方法の不備	15	1.5%
4	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	10	1.0%
合計		81	7.9%

⑥ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	13	1.3%
2	学習成果への不信・不安感	3	0.3%
3	教員からの対応による心理的萎縮	1	0.1%
合計		17	1.6%

⑦ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が324件（31.4%）で最も多く、「教示」299件（29.0%）、「学習環境」156件（15.1%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「授業方法・内容の改善要望」132件（12.8%）が最多で、「説明の不明瞭さ・情報不足」88件（8.5%）、「教員の声の特徴による学習への影響」80件（7.8%）が上位を占めた。

- ・ 共通教育科目では、授業内容・方法、説明や声の聞き取りやすさ、教材の構成に加え、私語・遅刻等への対応に関する改善要望が多かった。

(5) その他の科目の分析結果

「その他の科目」とは、教職課程、図書館司書等の免許・資格関連科目に区分される科目を指す。

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 85 件、件数合計は 118 件となった。カテゴリごとに 4 位以内（同数は同順位）のラベルを以下に示す。

表 20 その他の科目における改善要望のカテゴリ別上位ラベル

カテゴリ	上位ラベル
教示	1 説明の不明瞭さ・情報不足 2 授業の飽きさせない工夫の不足 2 教員の声の特徴による学習への影響 4 授業進行ペース・配分の不適切さ 4 話題の脱線 4 教員の対応不誠実／学生意見軽視
教材	1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭 2 教材の構成・記載内容の不備 3 書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足 4 見づらいスライド（パワーポイント）・板書
学習環境	1 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ 2 教室の広さ・視認性の不適合 3 教室の温度・照明の不適切さ 3 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ 3 学習環境の改善要望
教授法	1 授業方法・内容の改善要望 2 グループワーク・意見交換の不足 2 学習内容の定着を促す工夫の不足 4 実践的学習活動の不足
評価	1 テストの難易度・出題範囲の不適切さ 2 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ 3 評価・試験方法への改善要望 4 欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足
意欲への影響	1 授業への関心・参加意欲の低下 2 学習成果への不信・不安感

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計（118 件）を分母として算出している。

① 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	14	11.9%
2	授業の飽きさせない工夫の不足	3	2.5%
2	教員の声の特徴による学習への影響	3	2.5%
4	授業進行ペース・配分の不適切さ	1	0.8%
4	話題の脱線	1	0.8%
4	教員の対応不誠実／学生意見軽視	1	0.8%
合計		23	19.5%

② 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	10	8.5%
2	教材の構成・記載内容の不備	9	7.6%
3	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	5	4.2%
4	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	2	1.7%
合計		29	24.6%

③ 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	9	7.6%
2	教室の広さ・視認性の不適合	2	1.7%
3	教室の温度・照明の不適切さ	1	0.8%
3	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	1	0.8%

順位	ラベル	件数	割合
3	学習環境の改善要望	1	0.8%
合計		14	11.9%

④ 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	授業方法・内容の改善要望	8	6.8%
2	グループワーク・意見交換の不足	5	4.2%
2	学習内容の定着を促す工夫の不足	5	4.2%
4	実践的学習活動の不足	3	2.5%
合計		30	25.4%

⑤ 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	6	5.1%
2	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	4	3.4%
3	評価・試験方法への改善要望	3	2.5%
4	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	2	1.7%
合計		18	15.3%

⑥ 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	授業への関心・参加意欲の低下	3	2.5%
2	学習成果への不信・不安感	1	0.8%
合計		4	3.4%

⑦ 分析結果の概要

- ・カテゴリ別では「教授法」が 30 件（25.4%）で最も多く、「教材」29 件（24.6%）、「教示」23 件（19.5%）が続いた。
- ・個別ラベルでは「説明の不明瞭さ・情報不足」14 件（11.9%）が最多で、「資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭」10 件（8.5%）、「ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ」9 件（7.6%）が上位を占めた。
- ・その他の科目では、説明の分かりやすさ、資料の配布・内容、ICT を用いた資料提供や受講方法に関する改善要望が中心であった。